

# W e b 研修の状況報告Ⅱ

## －W i t h コロナ時代のW e b 研修の在り方の検討に向けて－

研修・支援部 主任研究主事兼指導主事 竺 沙 敏 彦

### 要約

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言により従前の集合研修をW e b 研修（オンライン研修）に切り替えた。本稿では、W e b 研修の形態や特徴について整理を行った後、本府で行った研修についてデータに基づいて分析する。その結果、データに基づいて客観的に集合研修やW e b 研修の状況把握を行うことができ、今後の研修の在り方の検討につながる知見が得られた。

キーワード：W e b 研修、オンライン研修、初任者研修、緊急事態宣言、新型コロナ禍

### 1 はじめに

昨年度まで京都府の初任期育成研修では原則集合研修を行ってきた。本年度当初、国による緊急事態宣言により4月から6月中旬までの集合研修を取りやめ、W e b を活用した研修に切り替えた。

本稿では、W e b 研修のうち、動画を活用した研修についての研修の実施状況を報告する。

### 2 研修形態の分類

#### (1) 研修の分類

議論を整理するために、2つの基準を基にして研修形態を分類するための基準作りを行った。まず、1つ目の基準として受講者が集合するか否かについて表1のように3つに分けた。

(表1) 研修形態の分類Ⅰ 受講者などの集合形態

	S：「集合」	N：「非集合」	H：集合と非集合の併用 (ハイブリッド型)	B：「分散集合」
受講者	会場に集合	会場に非集合	会場に集合	複数会場に集合
講師	会場に集合	所在は任意	非集合 (一部の講師が非集合も含む)	所在は任意

次に、2つ目の基準として表2のように7つに分けた。

(表2) 研修形態の分類Ⅱ 講師と受講者のつながりの形態

No.	研修形態	対面	リアルタイム	動画視聴
1	全て対面	○	×	×
2	全てオンライン (リアルタイム)	×	○	×
3	全て動画視聴	×	×	○
4	対面とリアルタイムの併用	○	○	×
5	対面と動画視聴の併用	○	×	○
6	リアルタイムと動画視聴の併用	×	○	○
7	3つ全ての併用	○	○	○

- ※リアルタイム…講師と受講者または会場間をリアルタイムで接続し相互に連絡が取れる状態
- ※オンライン…リアルタイムや動画視聴などインターネットを使って結ぶすべての形態

表1、表2の2つの基準を組み合わせると表3のようになる。28通りの組み合わせのうち、考えにくいパターン（受講者全員を集合させて、全て動画視聴のパターン等）を除いた10通りのパターンにラベリングする。例えば、「N2」は受講者は研修会場に集合することなく勤務地や自宅などから参加し、全てリアルタイムでWeb研修を受ける形式である。

(表3) 研修形態分類

No.	研修形態	対面	リアルタイム	動画視聴	集合：S	非集合：N	集合と非集合の併用：H (ハイブリッド型)	分散集合：B
					受講者が会場（センターなど）に集合	受講者は非集合（勤務地や自宅など）	受講者が会場（センターなど）に集合	受講者が会場に分散して集合
					講師も会場に集合	講師の所在は任意	講師（一部を含む）が非集合	講師の所在は任意
1	全て対面	○			S1	/	/	B1
2	全てオンライン（リアルタイム）		○		/	N2 ※II	/	B2 ※III
3	全て動画視聴			○	/	N3	/	/
4	対面とリアルタイムの併用		○	○	/	/	H4 ※I	B4 ※III
5	対面と動画視聴の併用		○	○	/	/	H5	/
6	リアルタイムと動画視聴の併用		○	○	/	N6	/	/
7	3つ全ての併用		○	○	/	/	H7	/

## (2) 研修形態別の特徴

集合研修とオンライン研修にはそれぞれメリットとデメリットがある。Webによる研修を提供している株式会社Schoo（スクー）は集合研修とオンライン研修の違いについて表4のようにまとめている。

(表4) 集合研修とオンライン研修の特徴

項目	オンライン研修	集合研修
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者全員に均質な学びを提供することができる。</li> <li>・繰り返し受講して理解を深められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者によって理解度がバラバラになる</li> <li>・基本的には一度しか受講できない</li> </ul>
時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の制限がないため、フレキシブルな運用が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間に集まる必要がある</li> </ul>
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット環境さえあれば、どこでも行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた会場に集まる必要がある。</li> </ul>
管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の受講状況を管理することができる。</li> <li>・ある程度のIT知識が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師選び、会場選びなど、工数が多い。</li> </ul>
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座代(買い切りタイプ)</li> <li>・ID費用(定額制タイプ)</li> <li>・初期費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師への報酬</li> <li>・講師の交通費</li> <li>・会場費</li> </ul>
受講者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対講師の形ではなく、対画面であるため、モチベーションの維持が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師のファシリテーションや、研修内容で受講者のモチベーションを上げやすい</li> </ul>

(出典：https://schoo.jp/biz/column/398)

本稿では、研修の形態について、オンライン研修を「オンライン研修（リアルタイム）」と「オンライン研修（動画視聴）」の2つに分け、また、項目を増やして、各研修形態の特徴を表5のようにまとめた。

(表5) 各研修形態の特徴 (筆者作成)

項目	色付け：他の形態より望ましいと思われる点		
	集合研修 ※「講師→センター」のリアルタイムを含む	オンライン研修（リアルタイム） ※センター→受講者	オンライン研修（動画視聴）
受講者	・講師のファンレクションや、研修内容で受講者のモチベーションを上げやすい	・講師のファンレクションや、研修内容で受講者のモチベーションを上げやすい	・対講師の形ではなく、対画面であるため、モチベーションの維持が必要
	・講師からフィードバックが得られる	・講師からフィードバックが得られる	・講師からのフィードバックが得にくい
	・受講者側の準備の負担は少ない	・ICT機器などの準備の負担が大きい	・ICT機器などの準備の負担がややある
	・初心者・新規採用者の出会いがあり、繋がりが作りやすい	・初心者・新規採用者同士の交流が少ない ※仕掛けをすることによって改善はできる	・初心者・新規採用者同士の交流がない
内容	・研究協議がしやすい ・演習しやすい	・研究協議はややしづらい ・演習もしづらい	・研究協議はできない ・演習は個人にゆだねて実施
	・一度しか受講できない	・一度しか受講できない	・必要な部分を繰り返し再生して理解を深められる（エビデンス有り）
	・自由度が高い	・自由度はやや高い	・自由度は低い
時間	・決められた時間に集まる必要がある	・決められた時間に集まる必要がある	・時間の制限が無い（少ない）ため、フレキシブルな運用が可能
	・勤務地から離れるため、通常業務による中断が原則無い	・勤務地で行った場合、通常業務による中断が有るなど研修に支障が出やすいが、動画視聴に比べて周囲の理解が得やすい	・勤務地で行った場合、通常業務による中断が有るなど研修に支障が出やすい上に、リアルタイム研修に比べて周囲の理解が得にくい。
	・勤務時間内の確保が容易	・勤務時間内の確保が容易	・勤務時間外に実施することが多くなりやすい
	・移動時間が必要（最大往復8時間）	・移動時間はほぼ無い	・移動時間はほぼ無い
場所	・決められた会場に集まる必要がある	・インターネット環境さえあれば、どこでも行える	・インターネット環境さえあれば、どこでも行える
管理者	・受講者の状況を把握できる	・受講者の状況を把握しやすい	・受講者の状況を把握しにくい
コスト	・出張旅費がかかる	・出張旅費がかからない	・出張旅費がかからない
研修実施時の周囲の理解	・得やすい	・やや得やすい	・得にくい
会場	・人数制限に対応が必要	・制限なし	・制限なし
対策		・インターネット環境の整備	・自宅など勤務地を離れて研修する ・管理職、指導教官による指示と、周囲の理解が必要
今後の方向性	演習や研究協議のある研修	演習や研究協議のある研修	伝達型の研修・講義（重要事項を繰り返し確認できる）
			連絡事項に向いている
	人数的には中規模の研修（10名程度～100、234名）	人数の少ない研修（10名程度以下）	人数の多い研修（235名以上、101名以上）

### 3 Web研修の実施概要

#### (1) 実施した研修の形態

本年度京都府の初任期育成研修84種類の講座について、表3で示したS1からH7までの9パターンについて実施状況を整理した(表6、7)。

(表6) 本年度京都府実施の初任期育成研修の研修形態

全講座	84
Web研修実施	27
集合研修	51
集合以外の研修※	6

※「テーマ研修」や「他校種体験」など集合しない研修

(表7) パターン別の講座実施状況

実施研修形態分類			講座数	令和2年度 実績(例)
S1	集合	全て対面	44	「道徳教育・特別支援教育」講座
N2	非集合	全てオンライン(リアルタイム) ※リアルタイムII(センター→受講者)	0	実績無し
N3	非集合	全て動画視聴	27	共通「開講式等」講座 共通「初任研スタート」講座 「2年目ステップアップ1」講座
N6	非集合	リアルタイムと動画視聴の併用	4	「高校教科教育1」講座(農工商水福) 「高校教科教育2」講座(芸術科美術) 「中学校教科教育」講座(技術分野)
H4	集合と非集合の併用	対面とリアルタイムの併用	0	実績無し ※一般講座502「人権教育講座I」
H5	集合と非集合の併用	対面と動画視聴の併用 ※リアルタイムI(講師→センター)	0	実績無し
H7	集合と非集合の併用	対面とリアルタイムと動画視聴の併用	1	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座
B1	分散集合	全て対面	3	「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座 「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座
B2	分散集合	全てオンライン(リアルタイム) ※リアルタイムIII(会場間接続)	1	共通「コミュニケーション」講座
B4	分散集合	対面とリアルタイムの併用	2	共通「教育実践」講座
合計			78	

※一つの講座番号でも教科によって形態が変わるため合計数は一致しない。

(表8) 初任期育成研修の講座一覧

初任期育成研修 令和2年度

講座番号	講座名	実施日(曜日)	対応	動画視聴期間orリアルタイム実施日
基本研修(初任期育成研修 初任者・新規採用者)				
101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座	4月1日(水)	Webに変更	5月1日(金)～5月21日(木)
102,103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座 a、b	4月16日(木)、23日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月21日(木)
104～107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 a～d	7月27日(月)～30日(木)	Webに変更	7月27日(月)～8月20日(木)
108,109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座 a、b	5月28日(木)、6月18日(木)	Webに変更	5月28日(木)～6月11日(木)
110	初任者・新規採用者研修共通「教育実践」講座	令和3年2月4日(木)		
111～114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座 a	9月3日(木)、17日(木)、10月8日(木)、29日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
115,116	初任者・新規採用者研修共通「人権教育」講座(センター)(北部)	8月3日(月)、4日(火)	Webに変更	8月3日(月)～8月20日(木)
117,118	初任者研修「生徒指導」講座(センター)(北部)	8月3日(月)、4日(火)	Webに変更	8月3日(月)～8月20日(木)
119,120	初任者研修「生徒指導・教育相談」講座 A、B	4月30日(木)、5月14日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月28日(木)
121,122	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座(センター)	8月18日(火)、19日(水)	変更なし	日程通り集合研修実施
123～126	初任者研修「小学校教科教育1」講座 A、B	5月21日(木)、6月4日(木)	Webに変更	5月21日(木)～6月4日(木)
127,128	初任者研修「小学校教科教育2」講座 A(センター)(北部)	6月25日(木)	日程変更	7月21日(火)
129,130	初任者研修「小学校教科教育2」講座 B(センター)(北部)	7月2日(木)	日程変更	7月22日(水)
131	初任者研修「小学校教科教育3」講座	7月30日(木)	日程変更	8月3日(月)、4日(火)
132	初任者研修「小学校教科教育4」講座	7月31日(金)	Webに変更	8月3日(月)～8月20日(木)
133	初任者研修「小学校教科教育5」講座	8月20日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
134,135	初任者研修「小学校教科教育6」講座 A、B	令和3年1月14日(木)、21日(木)		
136,137	初任者研修「小学校授業参観」講座 A、B	10月15日(木)、11月5日(木)	会場変更	
138,139	初任者研修「小学校総合的な学習の時間、外国語教育、情報教育」講座 A、B	7月21日(火)、22日(水)	Webに変更	6月18日(木)～7月2日(木)
140,141	初任者研修「中学校教科教育1」講座(センター)(北部)	5月21日(木)	Webに変更	5月21日(木)～6月4日(木)
142,143	初任者研修「中学校教科教育2」講座(センター)(北部)	6月4日(木)	Webに変更	6月4日(木)～6月18日(木)
144,145	初任者研修「中学校教科教育3」講座(センター)	7月9日(木)、8月6日(木)、7日(金)	変更なし	日程通り集合研修実施
146,147	初任者研修「中学校教科教育4」講座(センター)	9月24日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
148,149	初任者研修「中学校教科教育5」講座(センター)	11月12日(木)		
150,151	初任者研修「中学校教科教育6」講座(センター)	令和3年1月28日(木)		
152	初任者研修「中学校授業参観」講座	10月22日(木)	会場変更	
153	初任者研修「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座	9月10日(木)	会場変更	
154,155	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(センター)(北部)	5月28日(木)	Webに変更	教科により ・動画視聴(5月28日(木)～6月11日(木)) ・リアルタイム研修(5月28日(木)実施)
156,157	初任者研修「高等学校教科教育2」講座(センター)(北部)	6月11日(木)	Webに変更	教科により ・動画視聴(6月11日(木)～6月25日(木)) ・リアルタイム研修(6月11日(木)実施)
158,159	初任者研修「高等学校教科教育3」講座(センター)(北部)	7月9日(木)、8月7日(金)	変更なし	日程通り集合研修実施
160,161	初任者研修「高等学校教科教育4」講座(センター)(北部)	9月24日(木)、10月1日(木)、8日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
162,163	初任者研修「高等学校教科教育5」講座(センター)(北部)	11月5日(木)、12月(木)		
164,165	初任者研修「高等学校教科教育6、ホームルーム経営」講座(センター)(北部)	11月19日(木)、26日(木)		
166,167	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(センター)(北部)	令和3年1月14日(木)、28日(木)		
168	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座	9月10日(木)	会場変更	
169	初任者研修「特別支援学校1」講座	6月4日(木)	Webに変更	6月4日(木)～6月18日(木)
170	初任者研修「特別支援学校2」講座	7月2日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
171	初任者研修「特別支援学校3」講座	7月30日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
172	初任者研修「特別支援学校4」講座	9月10日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
173	初任者研修「特別支援学校5」講座	11月19日(木)	日程変更	
174	初任者研修「特別支援学校6」講座	令和3年1月14日(木)		
175	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座	6月18日(木)	会場、日程変更	
176	初任者研修「特別支援学校総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、外国語教育、情報教育」講座	10月15日(木)	Webに変更	6月18日(木)～7月2日(木)
177	初任者研修「他校種体験研修1」講座	通年		
178	初任者研修「他校種体験研修2」講座	通年		
181	新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座	5月28日(木)	Webに変更	5月28日(木)～6月11日(木)
182	新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座	7月27日(月)	変更なし	日程通り集合研修実施
183	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座	7月30日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
184	新規採用者研修「養護教諭1」講座	5月14日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月28日(木)
185	新規採用者研修「養護教諭2」講座	6月30日(火)	変更なし	日程通り集合研修実施
186	新規採用者研修「養護教諭3」講座	7月27日(月)	変更なし	日程通り集合研修実施
187	新規採用者研修「養護教諭4」講座	8月5日(水)	変更なし	日程通り集合研修実施
188	新規採用者研修「養護教諭5」講座	9月8日(火)	変更なし	日程通り集合研修実施
189	新規採用者研修「養護教諭6」講座	10月15日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
190	新規採用者研修「養護教諭7」講座	12月8日(火)		
191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座	5月14日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月28日(木)
192	新規採用者研修「栄養教諭2」講座	6月9日(火)	日程変更	9月15日(火)
193	新規採用者研修「栄養教諭3」講座	7月27日(月)	変更なし	日程通り集合研修実施
194	新規採用者研修「栄養教諭4」講座	8月5日(水)	変更なし	日程通り集合研修実施
195	新規採用者研修「栄養教諭5」講座	9月15日(火)	日程変更	10月20日(火)
196	新規採用者研修「栄養教諭6」講座	11月17日(火)	会場変更	
197	新規採用者研修「栄養教諭7」講座	12月8日(火)		
198	新規採用者研修「実習助手1」講座	5月14日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月28日(木)
199	新規採用者研修「実習助手2」講座	5月28日(木)	Webに変更	教科により ・動画視聴(5月28日(木)～6月11日(木)) ・リアルタイム研修(5月28日(木)実施)
200	実習助手「ステップアップ」講座	11月9日(月)		
201	新規採用者研修「寄宿舎指導員1」講座	5月14日(木)	Webに変更	5月1日(金)～5月28日(木)
202	新規採用者研修「寄宿舎指導員2」講座	6月4日(木)	Webに変更	6月4日(木)～6月18日(木)
203	寄宿舎指導員「ステップアップ」講座【会場を北部研修所に変更】	11月9日(月)		
204	新規採用者研修「学校事務職員1」講座	4月21日(火)	日程変更	9月29日(火)に実施
205	新規採用者研修「学校事務職員2」講座	6月25日(木)	Webに変更	6月18日(木)～7月2日(木)
206	新規採用者研修「学校事務職員3」講座	7月9日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
207	新規採用者研修「学校図書館司庫1」講座	6月25日(木)	Webに変更	6月18日(木)～7月2日(木)
208	新規採用者研修「学校図書館司庫2」講座	8月21日(金)	変更なし	日程通り集合研修実施
209	新規採用者研修「学校施設管理職員1」講座	4月21日(火)	日程変更	9月29日(火)に実施
210	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座	6月25日(木)	Webに変更	6月18日(木)～7月2日(木)
211	新規採用者研修「学校施設管理職員3」講座	7月9日(木)	変更なし	日程通り集合研修実施
212	新規採用者研修「学校施設管理職員4」講座	7月13日(月)		
213	幼稚園等新規採用教員研修「テーマ研修」	前期		
214	新規採用者「テーマ研修(計画立案)」	前期		
215	新規採用者「テーマ研修(実践研究)」	前期		
初任期育成研修(2年目教員)				
講座番号	講座名	実施日(曜日)	対応	動画視聴期間orリアルタイム実施日
221,222	2年目教員「ステップアップ1」講座(センター)(北部)	7月28日(火)、29日(水)	Webに変更	7月28日(火)～8月20日(木)
223～225	2年目教員「ステップアップ2」講座 a、b(センター)(北部)	8月6日(木)、7日(金)	変更なし	日程通り集合研修実施
226,227	2年目教員「ステップアップ3」講座(センター)(北部)	12月25日(金)	日程変更	12月25日と1月5日の両日実施
228	2年目教員「テーマ研修」	通年		

## 4 実施状況

### (1) 動画視聴期間の設定

準備期間が必要であった4月分の講座を除き、原則本来の研修日を動画視聴期間の開始日とし、15日間の視聴期間を設定した。学校業務日の初任者研修、新規採用者研修は原則木曜日に実施しており、初任者・新規採用者が出張しやすいように時間割や後補充の配慮がなされている。そのため、木曜日に動画を視聴し研修がしやすいように視聴期間を設定した。

また、15日間の設定期間終了後も動画は視聴できるようにしてありまとめて動画を視聴することも可能であるが、初任者・新規採用者が計画的に研修を行うことも目的の1つとして動画視聴期間を設定した。

表9は、動画視聴期間の順にWeb研修を整理した。

(表9) Web研修の動画視聴期間

基本研修（初任期育成研修 初任者・新規採用者）		
講座番号	講座名	動画視聴期間
101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座	5月1日（金）～5月21日（木）
102,103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座 a、b	
119,120	初任者研修「生徒指導・教育相談」講座 A、B	
184	新規採用者研修「養護教諭1」講座	5月1日（金）～5月28日（木）
191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座	
198	新規採用者研修「実習助手1」講座	
201	新規採用者研修「寄宿舎指導員1」講座	
123～126	初任者研修「小学校教科教育1」講座 A、B	5月21日（木）～6月4日（木）
140,141	初任者研修「中学校教科教育1」講座（センター）（北部）	
108,109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座 a、b	
181	新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座	5月28日（木）～6月11日（木）
154,155	初任者研修「高等学校教科教育1」講座（センター）（北部）	
199	新規採用者研修「実習助手2」講座	
142,143	初任者研修「中学校教科教育2」講座（センター）（北部）	
169	初任者研修「特別支援学校1」講座	6月4日（木）～6月18日（木）
202	新規採用者研修「寄宿舎指導員2」講座	
156,157	初任者研修「高等学校教科教育2」講座（センター）（北部）	6月11日（木）～6月25日（木）
138,139	初任者研修「小学校総合的な学習の時間・外国語教育、情報教育」講座 A、B	
176	初任者研修「特別支援学校総合的な学習の時間・総合的な探究の時間・外国語教育、情報教育」講座	6月18日（木）～7月2日（木）
205	新規採用者研修「学校事務職員2」講座	
207	新規採用者研修「学校図書館司書1」講座	
210	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座	
104～107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 a～d	7月27日（月）～8月20日（木）
115,116	初任者・新規採用者研修共通「人権教育」講座（センター）（北部）	
117,118	初任者研修「生徒指導」講座（センター）（北部）	8月3日（月）～8月20日（木）
132	初任者研修「小学校教科教育4」講座	

## 5 データから見える実施状況の特徴

### (1) 収集するデータ

Webを活用した講座の実施状況を分析するにあたり、次のデータを収集した。

#### ①YouTubeにアップした動画について管理者へ提供されるデータ

- ・日々の視聴回数
- ・視聴率

#### ②初任者研修アンケート（センター独自実施）

#### ③受講報告書

### (2) 日ごとのデータ

講座別に日ごとの視聴回数をまとめた（表10）。

(表10) 各講座別日ごと視聴回数

		101	102	123	140	108	181	154	142	169	156	138	176		
			103	124	141	109		155	143	202	157	139			
				125											
				126											
		合計	開講式	スタート	小学校1	中学校1	健康安全	幼稚園	高校1	中学校2	特支1	高校2	小総外情	特総外情	
日付		2149	469	492	145	103	446	24	69	103	42	69	145	42	
合計		15770	4327	3878	1130	897	2193	149	714	523	101	584	960	314	
講義数		33	4	4	5	1	3	2	2	1	1	2	5	3	
合計/人数・講義数		0.22	2.31	1.97	1.56	8.71	1.64	3.10	5.17	5.08	2.40	4.23	1.32	2.49	
1	4/30~5/6	497	324	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	5/7~5/13	3622	2133	1489	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	5/14~5/20	3100	1319	1601	75	105	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	5/21~5/27	1537	238	309	381	408	0	30	171	0	0	0	0	0	
5	5/28~6/3	1714	110	101	323	162	709	36	242	0	31	0	0	0	
6	6/4~6/10	1531	47	43	157	69	682	37	130	230	31	105	0	0	
7	6/11~6/17	1012	38	65	60	22	317	9	63	114	22	183	36	83	
8	6/18~6/24	959	25	42	50	40	172	12	37	66	9	107	277	122	
9	6/25~7/1	1048	50	27	56	33	164	4	51	42	4	117	430	70	
10	7/2~7/10	750	43	28	28	58	149	21	20	71	4	72	217	39	
週	日付	曜	合計	開講式	スタート	小学校1	中学校1	健康安全	幼稚園	高校1	中学校2	特支1	高校2	小総外情	特総外情
1	2020-04-30	木	74	74											
1	2020-05-01	金	78	57	21										
1	2020-05-02	土	36	19	17										
1	2020-05-03	日	18	6	12										
1	2020-05-04	月	23	9	14										
1	2020-05-05	火	2	0	2										
1	2020-05-06	水	266	159	107										
2	2020-05-07	木	561	384	177										
2	2020-05-08	金	168	116	52										
2	2020-05-09	土	104	52	52										
2	2020-05-10	日	586	376	210										
2	2020-05-11	月	778	465	313										
2	2020-05-12	火	718	377	341										
2	2020-05-13	水	707	363	344										
3	2020-05-14	木	574	274	300										
3	2020-05-15	金	193	107	86										
3	2020-05-16	土	170	74	96										
3	2020-05-17	日	542	235	307										
3	2020-05-18	月	458	202	256										
3	2020-05-19	火	526	260	266										
3	2020-05-20	水	637	167	290	75	105								
4	2020-05-21	木	375	63	135	72	105								
4	2020-05-22	金	127	20	15	58	34								
4	2020-05-23	土	112	15	33	46	18								
4	2020-05-24	日	236	46	48	62	80								
4	2020-05-25	月	166	47	32	43	44								
4	2020-05-26	火	118	19	11	31	52	5							
4	2020-05-27	水	403	28	35	69	75	25	171						
5	2020-05-28	木	393	10	28	19	36	213	9	78					
5	2020-05-29	金	210	16	9	33	15	93	3	41					
5	2020-05-30	土	264	16	12	70	19	114	5	28					
5	2020-05-31	日	205	17	18	49	20	75	9	17					
5	2020-06-01	月	186	23	12	22	28	69	1	31					
5	2020-06-02	火	172	15	14	52	16	49	3	23					
5	2020-06-03	水	284	13	8	78	28	96	6	24	31				
6	2020-06-04	木	245	11	12	68	23	29	5	17	71	9			
6	2020-06-05	金	145	7	1	26	6	42	3	13	44	3			
6	2020-06-06	土	224	6	7	28	2	135	7	11	23	5			
6	2020-06-07	日	220	3	7	21	13	127	8	18	21	2			
6	2020-06-08	月	200	7	7	8	6	92	9	32	35	4			
6	2020-06-09	火	161	7	2	5	6	94	0	18	26	3			
6	2020-06-10	水	336	6	7	1	13	163	5	21	10	5	105		
7	2020-06-11	木	225	8	12	2	6	107	1	26	16	0	47		
7	2020-06-12	金	99	2	1	13	0	32	1	9	11	4	26		
7	2020-06-13	土	112	5	15	20	0	33	1	2	9	1	26		
7	2020-06-14	日	186	6	8	17	3	60	6	13	27	5	41		
7	2020-06-15	月	84	4	3	2	9	17	0	3	24	2	20		
7	2020-06-16	火	89	6	13	3	2	8	0	1	19	4	8		25
7	2020-06-17	水	217	7	13	3	2	60	0	9	8	6	15	36	58
8	2020-06-18	木	145	1	19	7	6	21	1	4	9	2	11	43	21
8	2020-06-19	金	113	2	9	7	9	16	1	1	18	0	6	36	8
8	2020-06-20	土	144	7	9	15	1	26	3	1	5	0	16	44	17
8	2020-06-21	日	169	2	1	12	4	40	3	6	2	4	17	58	20
8	2020-06-22	月	105	5	3	1	7	26	0	11	10	0	14	14	14
8	2020-06-23	火	140	3	1	8	10	18	4	8	8	3	22	33	22
8	2020-06-24	水	143	5	0	0	3	25	0	6	14	0	21	49	20
9	2020-06-25	木	114	3	1	2	4	16	0	9	4	2	34	23	16
9	2020-06-26	金	111	3	4	0	1	23	0	3	2	0	7	64	4
9	2020-06-27	土	185	4	4	11	5	23	2	3	3	1	6	103	20
9	2020-06-28	日	186	18	10	23	2	30	1	12	3	0	14	61	12
9	2020-06-29	月	128	5	2	7	6	25	0	2	17	0	14	41	9
9	2020-06-30	火	119	9	1	4	8	18	0	9	7	0	10	48	5
9	2020-07-01	水	205	8	5	9	7	29	1	13	6	1	32	90	4
10	2020-07-02	木	129	2	8	4	4	18	0	3	9	2	9	56	14
10	2020-07-03	金	65	1	0	6	7	9	0	3	7	1	6	20	5
10	2020-07-04	土	106	9	0	2	3	30	8	7	12	0	10	23	2
10	2020-07-05	日	124	6	7	3	10	21	6	2	7	0	10	39	13
10	2020-07-06	月	83	4	1	4	3	33	0	1	9	1	9	17	1
10	2020-07-07	火	98	8	3	3	14	18	4	2	3	0	9	31	3
10	2020-07-08	水	66	4	2	0	9	4	3	1	14	0	17	12	0
10	2020-07-09	木	57	8	7	4	6	13	0	1	4	0	2	12	0
10	2020-07-10	金	22	1	0	2	2	3	0	0	6	0	0	7	1



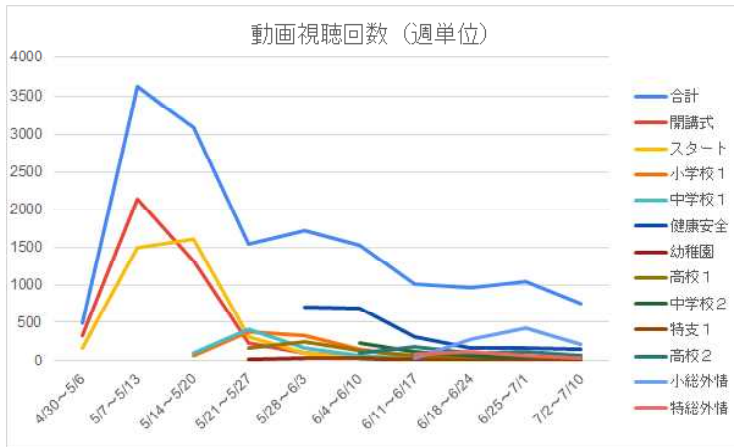
まず、各講座別に週単位の集計をしてグラフ化した。

(表11) 各講座別動画視聴回数 (週単位; 回数)

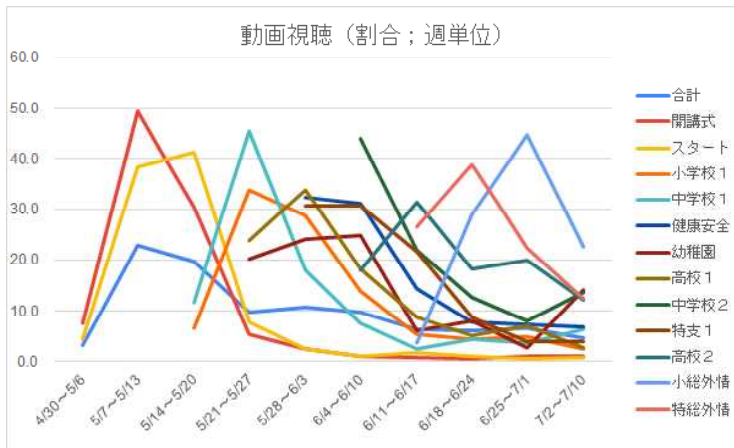
		101	102	123	140	108	181	154	142	169	156	138	176
			103	124	141	109		155	143	202	157	139	
				125									
				126									
	合計	開講式	スタート	小学校1	中学校1	健康安全	幼稚園	高校1	中学校2	特支1	高校2	小総外情	特総外情
日付	2149	469	492	145	103	446	24	69	103	42	69	145	42
合計	15770	4327	3878	1130	897	2193	149	714	523	101	584	960	314
講義数	33	4	4	5	1	3	2	2	1	1	2	5	3
合計/人数・講義数	0.22	2.31	1.97	1.56	8.71	1.64	3.10	5.17	5.08	2.40	4.23	1.32	2.49
1	4/30~5/6	497	324	173									
2	5/7~5/13	3622	2133	1489									
3	5/14~5/20	3100	1319	1601	75	105							
4	5/21~5/27	1537	238	309	381	408		30	171				
5	5/28~6/3	1714	110	101	323	162	709	36	242		31		
6	6/4~6/10	1531	47	43	157	69	682	37	130	230	31	105	
7	6/11~6/17	1012	38	65	60	22	317	9	63	114	22	183	36
8	6/18~6/24	959	25	42	50	40	172	12	37	66	9	107	277
9	6/25~7/1	1048	50	27	56	33	164	4	51	42	4	117	430
10	7/2~7/10	750	43	28	28	58	149	21	20	71	4	72	217

(表12) 各講座別動画視聴回数 (週単位; 割合)

日付	合計	開講式	スタート	小学校1	中学校1	健康安全	幼稚園	高校1	中学校2	特支1	高校2	小総外情	特総外情
	2149	469	492	145	103	446	24	69	103	42	69	145	42
4/30~5/6	3.2	7.5	4.5										
5/7~5/13	23.0	49.3	38.4										
5/14~5/20	19.7	30.5	41.3	6.6	11.7								
5/21~5/27	9.7	5.5	8.0	33.7	45.5		20.1	23.9					
5/28~6/3	10.9	2.5	2.6	28.6	18.1	32.3	24.2	33.9		30.7			
6/4~6/10	9.7	1.1	1.1	13.9	7.7	31.1	24.8	18.2	44.0	30.7	18.0		
6/11~6/17	6.4	0.9	1.7	5.3	2.5	14.5	6.0	8.8	21.8	21.8	31.3	3.8	26.4
6/18~6/24	6.1	0.6	1.1	4.4	4.5	7.8	8.1	5.2	12.6	8.9	18.3	28.9	38.9
6/25~7/1	6.6	1.2	0.7	5.0	3.7	7.5	2.7	7.1	8.0	4.0	20.0	44.8	22.3
7/2~7/10	4.8	1.0	0.7	2.5	6.5	6.8	14.1	2.8	13.6	4.0	12.3	22.6	12.4



(図1) 各講座別週単位視聴回数



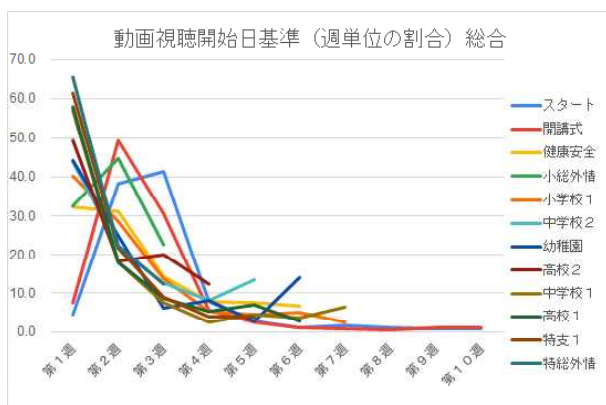
(図2) 各講座別週単位視聴割合

### (3) 動画視聴期間開始日を基準にしたデータ（週単位集計）

講座によって開始日が異なる。そこで、各講座の動画視聴期間開始日を基準としてデータを整理し表やグラフにまとめ視聴状況の分析を行う。

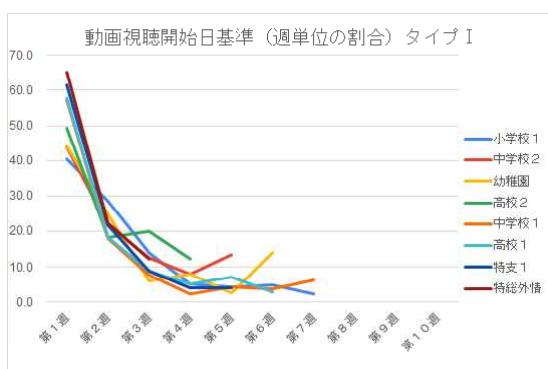
(表13) 動画視聴期間開始日を基準とした各講座別動画視聴回数（週単位；回数）

	合計	スタート	開講式	健康安全	小総外情	小学校1	中学校2	幼稚園	高校2	中学校1	高校1	特支1	特総外情
日付	2149	492	469	446	145	145	103	24	69	103	69	42	42
第1週	3.2	4.5	7.5	32.3	32.6	40.4	44.0	44.3	49.3	57.2	57.8	61.4	65.3
第2週	23.0	38.4	49.3	31.1	44.8	28.6	21.8	24.8	18.3	18.1	18.2	21.8	22.3
第3週	19.7	41.3	30.5	14.5	22.6	13.9	12.6	6.0	20.0	7.7	8.8	8.9	12.4
第4週	9.7	8.0	5.5	7.8		5.3	8.0	8.1	12.3	2.5	5.2	4.0	
第5週	10.9	2.6	2.5	7.5		4.4	13.6	2.7		4.5	7.1	4.0	
第6週	9.7	1.1	1.1	6.8		5.0		14.1		3.7	2.8		
第7週	6.4	1.7	0.9			2.5				6.5			
第8週	6.1	1.1	0.6										
第9週	6.6	0.7	1.2										
第10週	4.8	0.7	1.0										

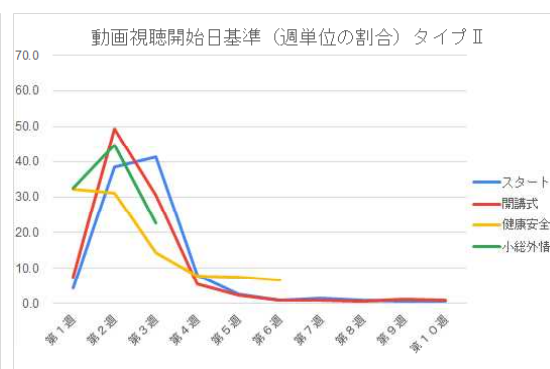


(図3) 動画視聴開始日基準（週単位の割合）全体

図3を観ると視聴状況を2つのパターンに分類することができる。



(図4) 動画視聴開始日基準（週単位の割合）タイプ I



(図5) 動画視聴開始日基準（週単位の割合）タイプ II

タイプ I は、開始後第1週が最も視聴割合が高く（約40～70%）、多くが第2週まででほぼ80～90%を占めている。標準的な視聴のパターンがこれである。

タイプ II は、開始後第1週の割合に比べ第2週、第3週の割合が高くなっているパターンである。その理由は各講座によって異なると考えられる。

「初任期スタート」講座と「開講式等」講座は、通知文を4月30日に発送し、動画視聴が5月1日であったため、通知が初日に間に合っていない上に、連休中であったため連休後の第2週に

実質的に開始となったことが考えられる。

「健康安全教育・地域連携」講座はA（5月28日）とB（6月18日）の間が3週間あり、本来Bの受講対象者が第2週、第3週に視聴していることが考えられる。

「小学校総合・外国語・情報」講座は、本来7月21日、22日に実施する講座であるが、視聴開始日を6月に繰り上げたことが影響していると考えられる。

#### (4) 動画視聴期間開始日を基準にしたデータ（日単位集計）

次に、日ごとの動画視聴状況を分析する。

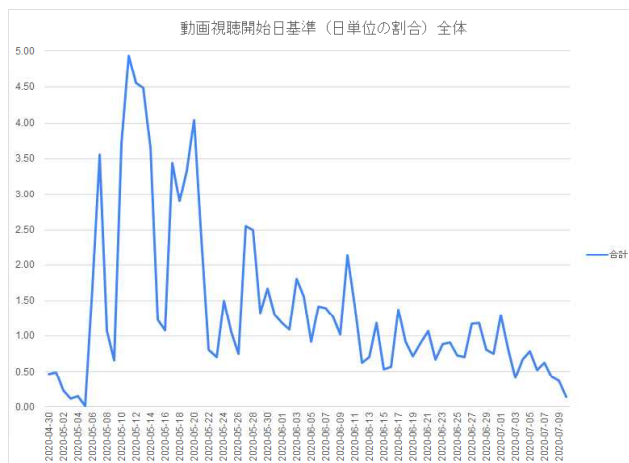
図6は、全講座の日ごとの動画視聴回数  
を表している。

表14は、各講座ごとの曜日別の動画視聴  
状況（割合）である。これにより次の特徴  
がわかる。

①動画視聴開始日は多くは木曜日である  
が、多少のばらつきはあるものの、どの  
曜日にも視聴されている。

②水曜日が最も多くなっているが、その  
原因の1つは、初日に確実に視聴すること  
ができるように、火曜日や水曜日に動画を

アップすることが多い。そのため、前日の水曜日の視聴も多く約4%ほどの視聴が前日の視聴  
となる。それを木曜日に加算すれば、木曜日の視聴割合は約22%ととらえて分析することも  
できる。



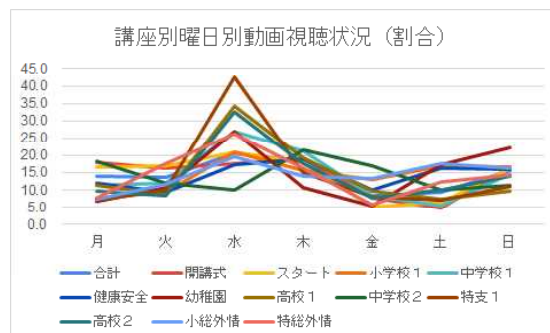
(図6) 動画視聴開始日基準（日単位の割合）

(表14) 各講座ごとの曜日別の動画視聴状況（割合）

曜	合計	開講式	スタート	小学校1	中学校1	健康安全	幼稚園	高校1	中学校2	特支1	高校2	小総外情	特総外情
月	14.0	17.8	16.6	7.7	11.5	11.9	6.7	11.2	18.2	6.9	9.8	7.5	7.6
火	13.6	16.3	16.9	9.4	12.0	9.3	10.7	8.5	12.0	9.9	8.4	11.7	17.5
水	20.7	17.6	20.9	20.8	27.0	17.2	26.8	34.3	9.9	42.6	32.5	19.5	26.1
木	18.3	19.4	18.0	15.8	21.2	19.0	10.7	19.3	21.6	14.9	17.6	14.0	16.2
金	8.4	7.7	5.1	12.8	8.2	9.9	5.4	9.8	16.8	7.9	7.7	13.2	5.7
土	9.2	4.8	6.3	17.0	5.4	16.5	17.4	7.3	9.9	6.9	9.9	17.7	12.4
日	15.7	16.5	16.2	16.5	14.7	16.1	22.1	9.5	11.5	10.9	14.0	16.5	14.3

③土日の視聴の割合が約24.9%と4回に1回は  
休みの日に視聴されていることがわかる。さら  
に祝日を加えるとその割合はさらに高くなる。

④上記③については、小学校や幼稚園がさらに  
その傾向が強く、小学校の場合は約33%、幼稚  
園の場合は約40%が土日に視聴している。



(図7) 講座別曜日別動画視聴状況(割合)

次に、各講座ごとに日ごとの視聴状況を分析する（図8～10）。

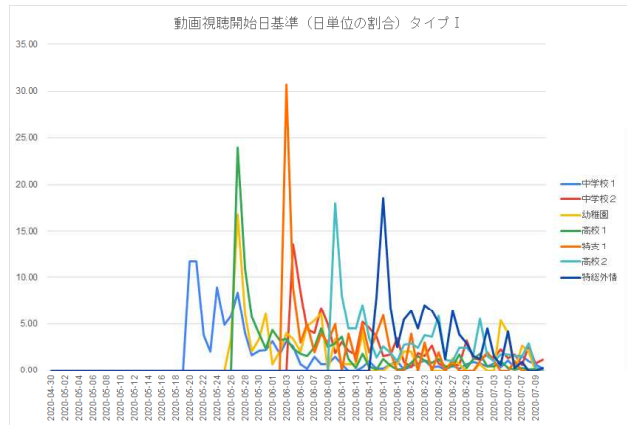
まず、最も多いパターンはタイプⅠである。動画視聴開始日（前日を含む）が最も多くなっているパターンである。

タイプⅡ（図9）は、開始日から約2週間の間に平均的に視聴されているパターンである。その理由は、2通りある。

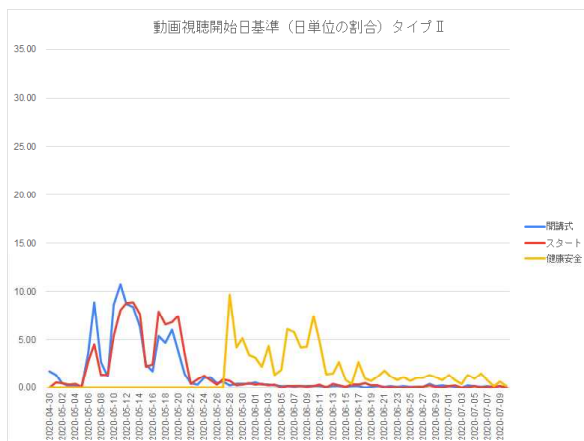
1つは、前述したが、スタート講座と開講式等講座については、4月30日に開始であるが連休終了の5月6日から本格的に視聴が始まっている。

もう1つは、これも前述したが、「健康安全教育・地域連携」講座は本来の開始日が複数あることの影響があると考えられる。

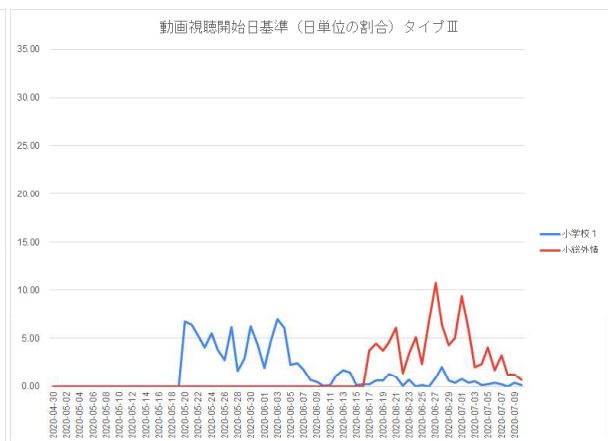
タイプⅢ（図10）は、いずれも小学校の講座であるが、タイプⅡと同じく2週間平均的に視聴されているが、その理由は異なると考えられる。



（図8）動画視聴状況（日ごと）タイプⅠ



（図9）動画視聴状況（日ごと）タイプⅡ



（図10）動画視聴状況（日ごと）タイプⅢ

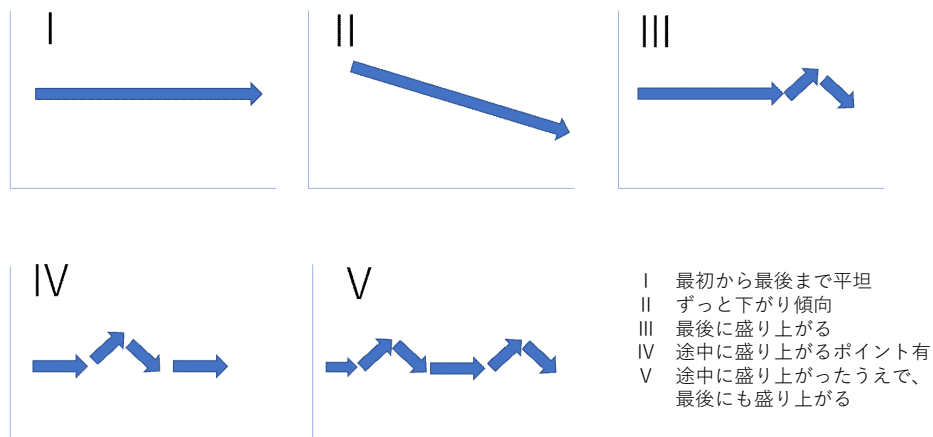
## (5) YouTube掲載の動画視聴データ

YouTubeは時間の経過ごとの視聴率のデータが収集できる。

そこで、各講座動画ごとに視聴の状況を分類し枠組みを作成し分析を行う。

### ア 視聴率のパターン

今回提供した動画の視聴パターンについて、次のように5つのタイプに分類した。



(図11) 今回提供の動画に対する5つの視聴パターン

6月末までに提供した67の動画について5つのタイプごとの動画数は表16のとおりである。  
なお、データを収集できなかった動画1つは集計から除外している。

(表16) タイプ別動画数

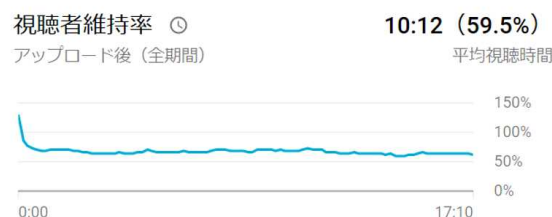
タイプ	タイプの特徴	該当する動画数
I	開始時から終了時まで視聴率に変化がない	16
II	開始時から終了時まで視聴率が下がり続ける傾向	11
III	開始時から基本的に視聴率は平坦であるが、後半に視聴率が高くなる	23
IV	途中の段階で視聴率が高くなる部分がある	8
V	途中の段階で視聴率が高くなる部分があり、かつ、後半に視聴率が高くなる	8

それぞれのタイプの典型例を紹介する。

### 【タイプⅠ】「開始時から終了時まで視聴率に変化がない」

例として、「開講式等」講座の講義Ⅱ「自らの教職生活を展望する～セルフマネジメントを手に入れる～」があげられる。図12のように開始時から終了時まで視聴率に大きな変化はない。

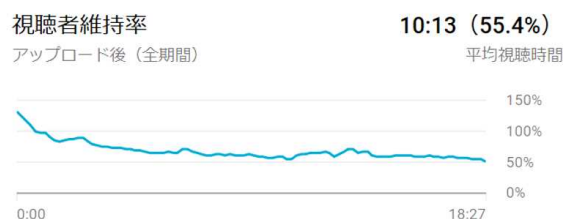
図の出典はYouTubeである。



(図12) タイプⅠの視聴率推移例

### 【タイプⅡ】「開始時から終了時まで視聴率が下がり続ける傾向」

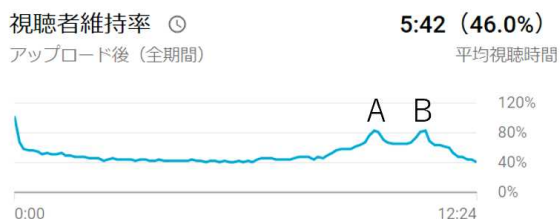
例として、共通「健康安全教育・地域連携」講座の講義Ⅰ「学校教育における健康安全教育の意義と役割について」があげられる。図13のように開始時から終了時まで視聴率は下がり続ける傾向がみられる。



(図13) タイプⅡの視聴率推移例

### 【タイプⅢ】「開始時から基本的に視聴率は平坦であるが、後半に視聴率が高くなる」

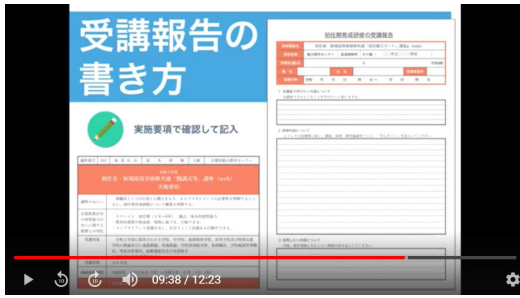
例として、共通「開講式等」講座の講義Ⅲ「各研修講座の概要について」があげられる。図14のように開始時から終了時まで視聴率に大きな変化がないが、最終の段階で視聴率の高まりがみられる。



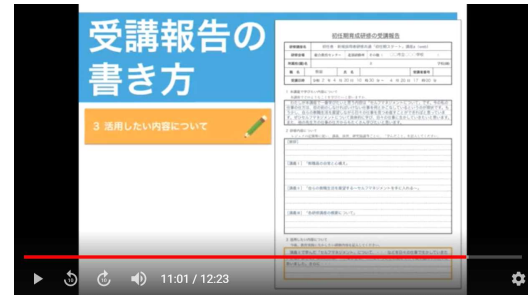
(図14) タイプⅢの視聴率推移例

どのような内容が高い視聴率になるのかを分析することは、効果的な動画作成に向けて有意義である。例としてあげた講義については、A、Bの位置では「受講報告」の書き方についてポイントを絞って具体的に説明をしている部分である。視聴率については、動画をみるのをやめたり飛ばしたりすることで視聴率が下がる。逆に、繰り返し再生をする部分は視聴率が高くなると考えられる。すなわち、本動画では、AやBの部分を繰り返し再生していると考えられる。

集合研修でも同じ内容の講義を行っているが、受講報告の書き方を一度言われても実際に書く際に全てを記憶している人はほとんどいない。しかし、動画であれば実際に受講報告を書く際に、講義を再度見返すことができる効果がある。視聴率の高さは、その効果の表れの1つであろう。



(図15) 図14のA地点の動画画面

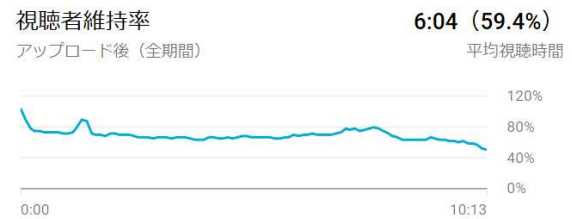


(図16) 図14のB地点の動画画面

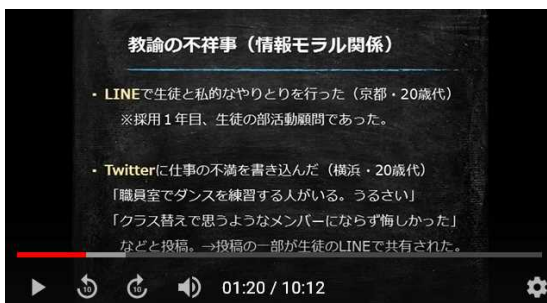
タイプⅢの後半に視聴率が高くなる部分の共通した内容としては、書類の書き方の説明、課題の提示、次回の連絡などがあげられる。

【タイプⅣ】「途中の段階で視聴率が高くなる部分がある」

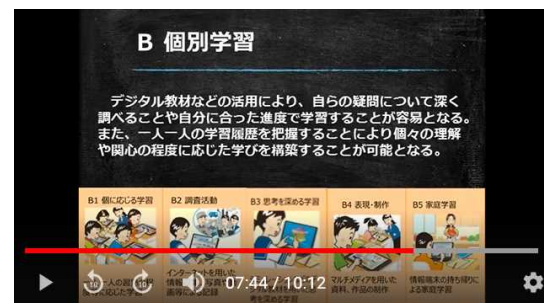
例として、共通「初任期スタート」講座の講義Ⅲ「情報活用能力の育成と情報手段の適切な活用」があげられる。図16のように開始時から終了時まで視聴率に大きな変化がないが、途中の段階で視聴率の高まりがみられる。



(図16) タイプⅣの視聴率推移例



(図17) 視聴率の高まりがみられる地点の動画画面



視聴率の高まりがみられる部分は、受講者が繰り返し見たり、止めたりしながら視聴していると考えられる。結果として、視聴率の高い部分は受講者にとって関心の高い内容であると理解することもできる。

【タイプⅤ】「途中の段階で視聴率が高くなる部分があり、かつ後半に視聴率が高くなる」

例として、「中学校教科教育1」講座の数学科の動画があげられる。このタイプは、タイプⅢとタイプⅣの両方を兼ね備えたタイプである。途中に興味関心の高い内容があり、最後に連絡事項などで視聴率が高くなるタイプである。



(図18) タイプⅤの視聴率推移例

なお、途中で2回以上視聴率が高くなる場合はタイプⅣへの分類とする。



詳しい分析は後述する。

このように動画の視聴パターンを分類することにより、次のことにつながる。

①効果的な研修のための内容の見直しにつながる。

②集合研修とオンライン研修の形態選択につながる。ひいては、講座全体の構想につながる。

今回、視聴パターンは5つに分類した。理論的には、他にもタイプが考えられる。例えば、「開始時から終了時まで上がり続ける」、「特定の場所の視聴率が下がる傾向」などが考えられる。今回、そのようなタイプの動画が見られなかったのでタイプから外しているが、今後の研修においては枠組みの見直しをする必要がある。

図11で示した5つの視聴パターンを今回提供したすべての動画を分類したが、各動画の視聴パターンやそのほかの詳細な情報を表17に示す。

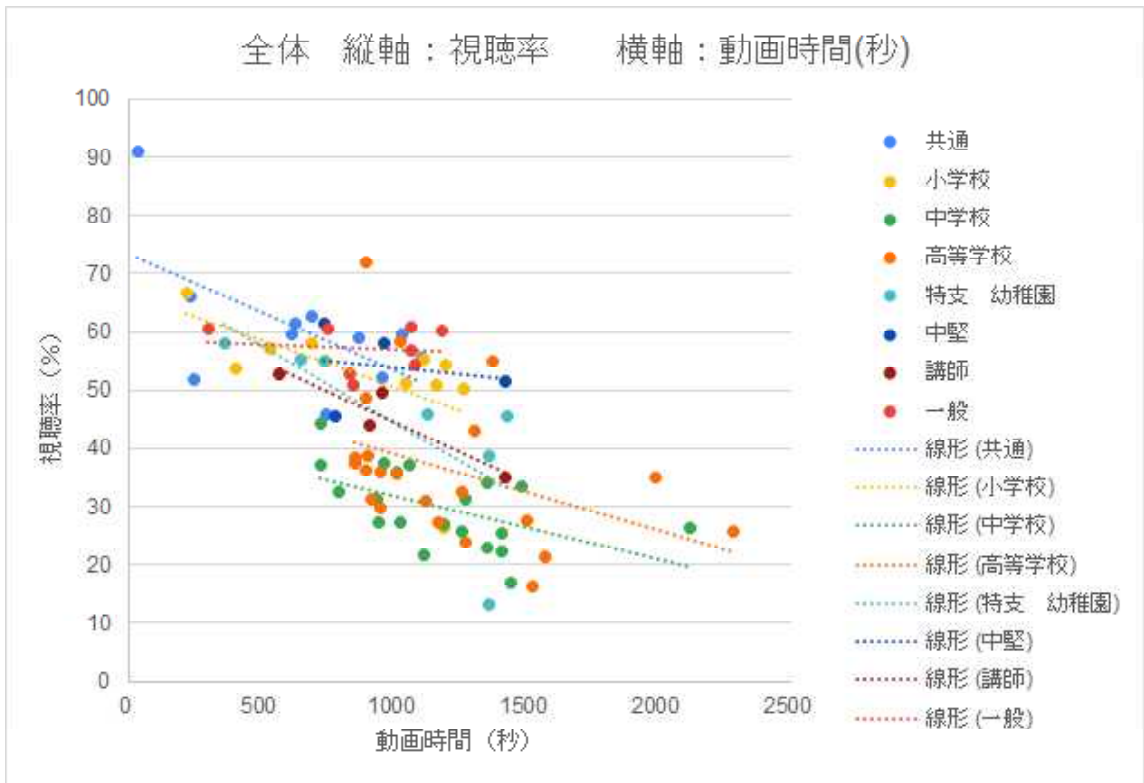
(表17) 各動画の視聴パターンや詳細な情報

講座番号	講座名	動画のタイトル	視聴パターン	①平均再生率 (%)	②視聴回数	③平均視聴時間(秒)	④動画時間(秒)	⑤平均再生率 (%)	⑥受講対象人数	⑦視聴回数/受講対象人数
								⑤×⑦		⑦/⑥
		合計		49.80	20208					
101	開講式等	101-3 各研修講座の概要について	Ⅲ	46.02	1334	342	743	130.90	469	2.84
		101-0 所長挨拶	Ⅱ	66.22	1166	156	236	164.63	469	2.49
		101-1 教職員の自覚と心構え	Ⅱ	61.55	973	388	630	127.69	469	2.07
		101-2 自らの教職生活を展望する～セルフマネジメントを手に入れる～	Ⅰ	59.46	857	612	1029	108.65	469	1.83
102,103	初任スタート	102-1 人権教育の基本的な視点(演習)・KT1-2_人権教育の基本事項(演習)	Ⅱ	90.88	747	29	32	137.98	492	1.52
		102-1 人権教育の基本的な視点1(講義編)	Ⅱ	52.03	1072	497	955	113.37	492	2.18
		102-2 特別支援教育の基本的な視点(導入編)	Ⅲ	51.64	1228	126	244	128.89	492	2.50
108,109	健康安全・地域連携	102-3 情報活用能力の育成と情報手段の適切な活用	Ⅳ	59.43	831	364	612	100.38	492	1.69
		108-109-02-1 大阪教育大学附属池田小学校における学校安全の取り組み(1)	Ⅰ	58.86	739	513	872	97.53	446	1.66
		108-109-02-2 大阪教育大学附属池田小学校における学校安全の取り組み(2)	Ⅰ	62.78	569	435	693	80.09	446	1.28
		108-109-1 学校教育における健康安全教育の意義と役割について	Ⅱ	55.41	889	613	1106	110.45	446	1.99
123~126	小学校教科教育1	123~126-1 小学校教科教育の概要	Ⅴ	53.53	397	218	407	146.56	145	2.74
		123~126-2 小学校国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導1	Ⅳ	51.11	272	536	1049	95.88	145	1.88
		123~126-2 小学校国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導2	Ⅱ	57.23	221	307	536	87.23	145	1.52
		123~126-3 小学校算数科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導1	Ⅳ	54.19	240	647	1194	89.69	145	1.66
		123~126-3 小学校算数科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導2	Ⅰ	57.93	185	402	694	73.91	145	1.28
138,139	小学校総合的な学習の時間、外国語教育、情報教育	138-139-0 小学校教科教育2 連絡事項	Ⅱ	66.85	224	145	217	103.27	145	1.54
		138-139-1-1 総合的な学習の時間の概要と実際(1)	Ⅱ	54.96	211	411	748	79.98	145	1.46
		138-139-1-2 総合的な学習の時間の概要と実際(2)	Ⅲ	50.20	173	634	1263	59.89	145	1.19
		138-139-2 小学校外国語教育講座の概要と実際	Ⅳ	55.25	181	617	1117	68.97	145	1.25
		138-139-3 情報教育とICTの活用	Ⅴ	50.80	182	591	1163	63.76	145	1.26
140	中学校教科教育1(センター)	140-1-1 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【国語科】	Ⅲ	27.15	128	256	943	267.32	13	9.85
		140-1-2 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【社会科】	Ⅲ	37.57	119	363	966	298.06	15	7.93
		140-1-3 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【数学科】	Ⅴ	37.05	163	392	1058	317.85	19	8.58
		140-1-4 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【外国語科】	Ⅲ	32.48	149	258	794	219.98	22	6.77
141	中学校教科教育1(北部)	141-1-1 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【理科】	Ⅲ	22.41	82	316	1410	183.76	10	8.20
		141-1-2 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【音楽科】	Ⅲ	23.01	39	312	1356	299.13	3	13.00
		141-1-3 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【美術科】	Ⅴ	33.58	37	497	1480	621.23	2	18.50
		141-1-4 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【保健体育科】	Ⅲ	31.24	128	292	935	266.58	15	8.53
		141-1-5 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【技術・家庭科(技術分野)】	Ⅳ	17.02	23	245	1439	391.46	1	23.00
142	中学校教科教育2(センター)	141-1-6 各教科における学習指導の目標と内容。「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【技術・家庭科(家庭分野)】	Ⅲ	21.60	32	240	1111	345.60	2	16.00
		142-1-1 教科指導・授業設計の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【国語】	Ⅴ	37.18	68	270	726	194.48	13	5.23
		142-1-2 教科指導・授業設計の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【社会】	Ⅰ	36.04	73	365	1013	175.39	15	4.87
		142-1-3 教科指導・授業設計の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【数学】	Ⅲ	26.30	141	558	2122	195.17	19	7.42
		142-1-4 教科指導・授業設計の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【外国語】	Ⅲ	44.29	87	321	725	175.15	22	3.95
143	中学校教科教育2(北部)	143-1-1 教科指導の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【理科】	Ⅳ	27.04	53	322	1191	143.31	10	5.30
		143-1-2 教科指導の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【音楽】	Ⅲ	33.95	22	460	1355	248.97	3	7.33
		143-1-3 教科指導の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【美術】	Ⅴ	25.69	16	323	1257	205.52	2	8.00
		143-1-5 教科指導の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【家庭分野】	Ⅰ	27.37	23	280	1023	314.76	2	11.50
		143-2-1 教科指導の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【理科】	Ⅲ	31.15	45	397	1274	140.18	10	4.50
154	高等学校教科教育1(センター)	154-155-1 学習指導要領の趣旨と教科教育の在り方	Ⅳ	48.80	221	438	898	150.30	69	3.20
		154-2-1 教科教育と授業設計の基本的な考え方【国語科】	Ⅰ	36.30	58	325	895	263.18	8	7.25
		154-2-2 教科教育と授業設計の基本的な考え方【地理歴史科・公民科】	Ⅲ	35.74	65	362	1013	232.31	10	6.50
		154-2-3 教科教育と授業設計の基本的な考え方【数学科】	Ⅲ	30.92	79	347	1122	203.56	12	6.58
		154-2-4 教科教育と授業設計の基本的な考え方【外国語科】	Ⅲ	38.64	85	348	901	469.20	7	12.14
155	高等学校教科教育1(北部)	154-2-5 教科教育と授業設計の基本的な考え方【情報科】	Ⅲ	27.09	36	316	1166	243.81	4	9.00
		155-2-3 教科教育と授業設計の基本的な考え方【芸術科音楽】	Ⅰ	16.39	20	250	1525	327.80	1	20.00
		155-2-1 教科教育と授業設計の基本的な考え方【理科】	Ⅲ	35.05	70	698	1991	272.61	9	7.78
		155-2-2 教科教育と授業設計の基本的な考え方【保健体育科】	Ⅴ	38.48	45	328	852	288.60	6	7.50
		155-2-4 教科教育と授業設計の基本的な考え方【芸術科美術】	Ⅲ	27.65	15	415	1501	207.38	2	7.50
156	高等学校教科教育2(センター)	155-2-5 教科教育と授業設計の基本的な考え方【家庭科】	Ⅰ	21.25	20	334	1572	212.50	2	10.00
		156-157-1 教科指導の効果を高めるICTや教材・教具等の活用	Ⅱ	54.86	143	754	1374	113.70	69	2.07
		156-2-1 教科教育の基本的な在り方 国語科	Ⅴ	31.34	71	287	916	278.14	8	8.88
		156-2-2 教科教育の基本的な在り方 地理歴史科・公民科	Ⅲ	29.70	66	283	953	196.02	10	6.60
		156-2-3 教科教育の基本的な在り方 数学科	Ⅰ	23.79	79	303	1274	156.62	12	6.58
		156-2-4 教科指導の基本的な在り方 外国語科	Ⅰ	37.57	64	321	854	343.50	7	9.14
157	高等学校教科教育2(北部)	156-2-5 教科指導の基本的な在り方 情報科	Ⅲ	32.39	40	407	1257	323.90	4	10.00
		157-2-1 教科指導の基本的な在り方 理科	Ⅰ	25.65	59	586	2285	168.15	9	6.56
		157-2-2 教科指導の基本的な在り方 保健体育科	Ⅲ	36.00	44	343	953	264.00	6	7.33
		157-2-3 教科指導の基本的な在り方 芸術科音楽	Ⅰ	43.02	11	562	1306	473.22	1	11.00
		157-2-5 教科指導の基本的な在り方 家庭科	Ⅰ	58.31	8	600	1029	233.24	2	4.00
169	特別支援学校1	169-2 個人情報とその取扱いの留意点	Ⅰ	55.23	101	360	652	132.82	42	2.40
176	特別支援学校総合、外国語、情報	176-1 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の概要	Ⅱ	45.80	124	516	1127	135.22	42	2.95
		176-2 外国語教育の概要	Ⅰ	38.88	114	530	1363	105.53	42	2.71
		176-3-1 情報教育とICTの活用(1)	Ⅱ	45.44	77	649	1428	83.31	42	1.83
181	幼稚園教育1	181-1 生きる力の基礎を培う幼稚園教育	Ⅳ	54.79	72	405	739	164.37	24	3.00
		181-3-1 幼児の心を育てる教師の役割(2)	Ⅰ	57.93	77	209	361	185.86	24	3.21

## イ 動画時間の長さや視聴時間の相関

今回、提供した動画については、短いものは30秒間から長いものは40分間近いものまであった。その動画時間の長さや視聴時間の相関について分析する。

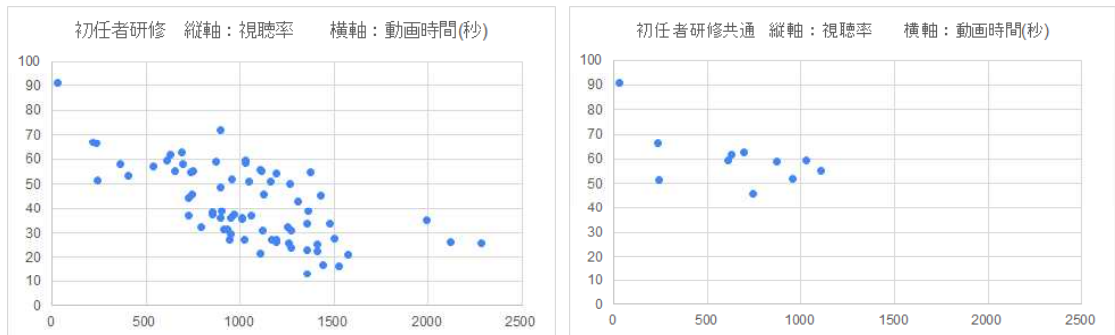
図19は、動画時間と視聴率の関係を動画ごとに計算し散布図にしたものである。



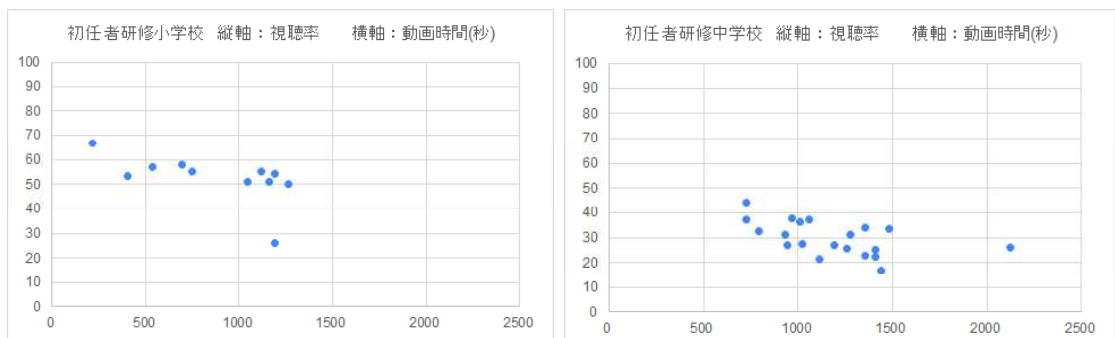
(図19) 動画時間と視聴率の関係

全体的な傾向としては、動画時間が長くなると視聴率が下がる傾向があるように見える。

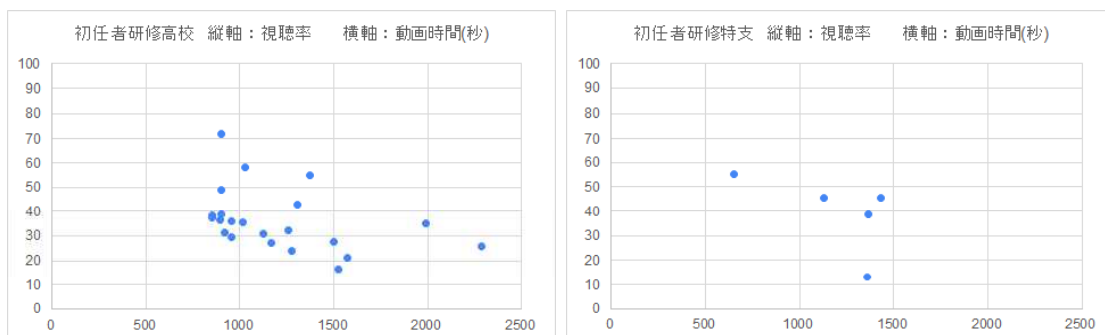
しかし、400名前後が対象となる共通講座と数名から20名程度が対象となる教科教育講座の全てが混在しているので分けて分析を行う。



(図20) 動画時間の長さとは視聴率の相関 (左: 初任者研修全体、右: 共通講座)



(図21) 動画時間の長さとは視聴率の相関 (左: 小学校教科教育、右: 中学校教科教育)



(図22) 動画時間の長さや視聴率の相関 (左：高等学校教科教育、右：特別支援教育)

共通講座や小学校教科教育は比較的短い動画が多く、動画時間の長さが視聴率にあまり影響していない。中学校教科教育や高等学校教科教育は比較的長い動画が多い。若干長い動画のほうが視聴率が低くなる傾向もみられないわけではないが、さほど大きな差ではない。

表18の最右欄は、各動画の総視聴回数をその講座の受講対象人数で割った数を計算している。これを共通講座や各校種の教科教育ごとに集計すると表18となる。

(表18) 受講対象人数一人当たりの総視聴回数 (⑦の欄)

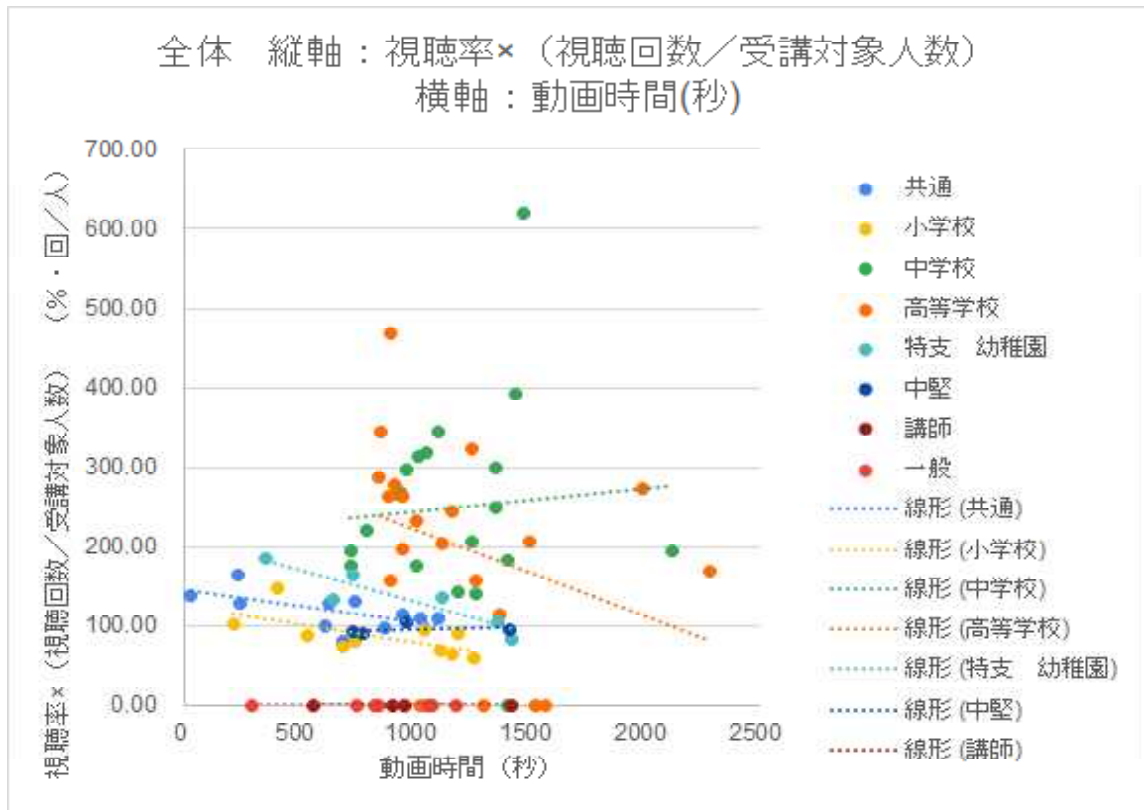
動画のタイトル	視聴パターン	①平均再生率 (%)	②視聴回数	③平均視聴時間(秒)	④動画時間(秒)	⑤平均再生率 (%)	⑥受講対象人数	⑦視聴回数/受講対象人数
初任研(共通)		60.39	10405		650.2	118.2	471	2.00
初任研(小学校教科教育)		52.56	2286		838.8	86.9	145	1.58
初任研(中学校教科教育)		29.87	1428		1167.3	263.4	10	9.39
初任研(高等学校教科教育)		36.41	1299		1220.8	258.5	12	8.08
初任研(特別支援学校)		39.69	416		1142.5	114.2	42	2.48
初任研(幼稚園)		56.36	149		550.0	175.1	24	3.10

※中学校、高等学校の⑥の欄は受講対象人数を教科数で割った数値である。

共通講座や特別支援学校の講座は受講対象人数の約2倍となっている。初任者以外の人が見ていないと仮定すると、受講者一人当たり平均2回視聴しているととらえることができる。実際には、初任者以外も視聴しているので一人当たりの視聴回数はそれよりも少ないことになる。小学校は一人当たり約1.6回となり、これらは一人当たり2回以内の視聴となっている。それに対して、中学校教科教育は約9.4倍、高等学校教科教育は約8.1倍と前述の講座に比べてかなり高い。これは、中学校、高等学校は教科ごとの動画が中心となるので、受講対象が数名から二十数名と比較的少ないことも要因として考えられるが、動画を繰り返し視聴していると考えることが自然である。

図19をみると、中学校教科教育、高等学校教科教育の視聴率が低くなっているが、これは1つの動画を1回だけ見た時のことを想定している。しかし、中高は同じ人が繰り返し見ている可能性がある。比較的長い動画であるので、1回目は途中まで視聴して終了し、2回目に前回の続きで視聴した場合、視聴率は実際に見ている状況を反映しない。

そこで、視聴率に対象者一人当たりの視聴回数をかけた数値を計算し、グラフを作り直すと次の図23になる。



(図23) 動画時間と一人当たり視聴率（視聴率×（視聴回数／受講対象人数））との相関

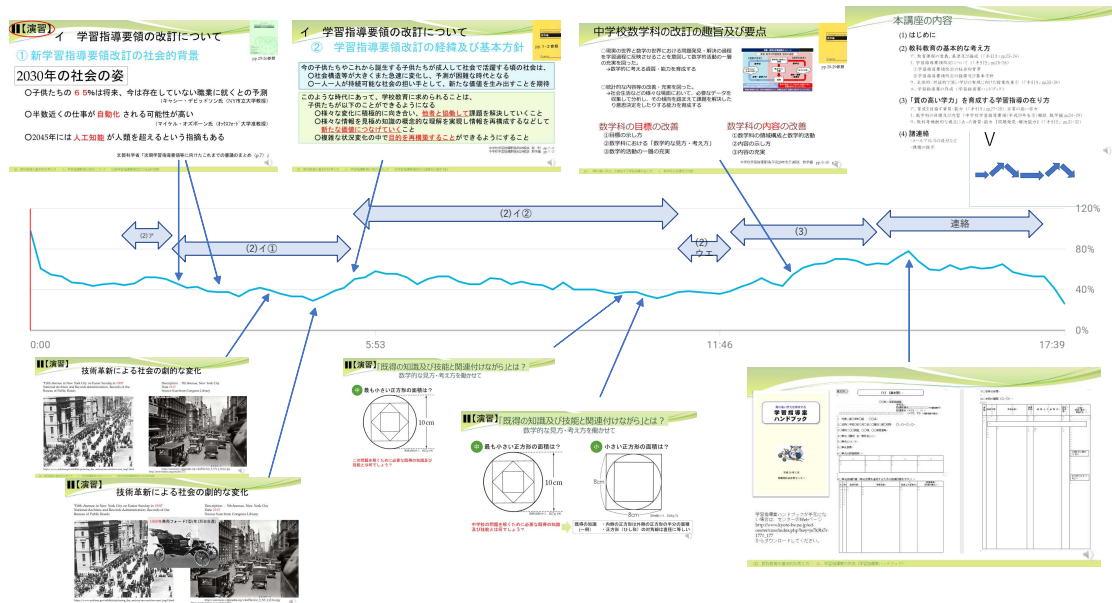
これを分析すると、近似曲線に変化がみられる。

動画時間と視聴率の相関係数は、小学校が $-0.6518$ 、中学校は $0.1768$ 、高等学校は $-0.3396$ となった。すなわち、小学校は動画時間と視聴率の相関があり、動画時間が長くなると視聴率が下がる関係にある。中学校は動画時間と視聴率の相関は見られないが、動画時間が長くなってもやや視聴率は高くなる傾向がある。高等学校は弱い負の相関がある。

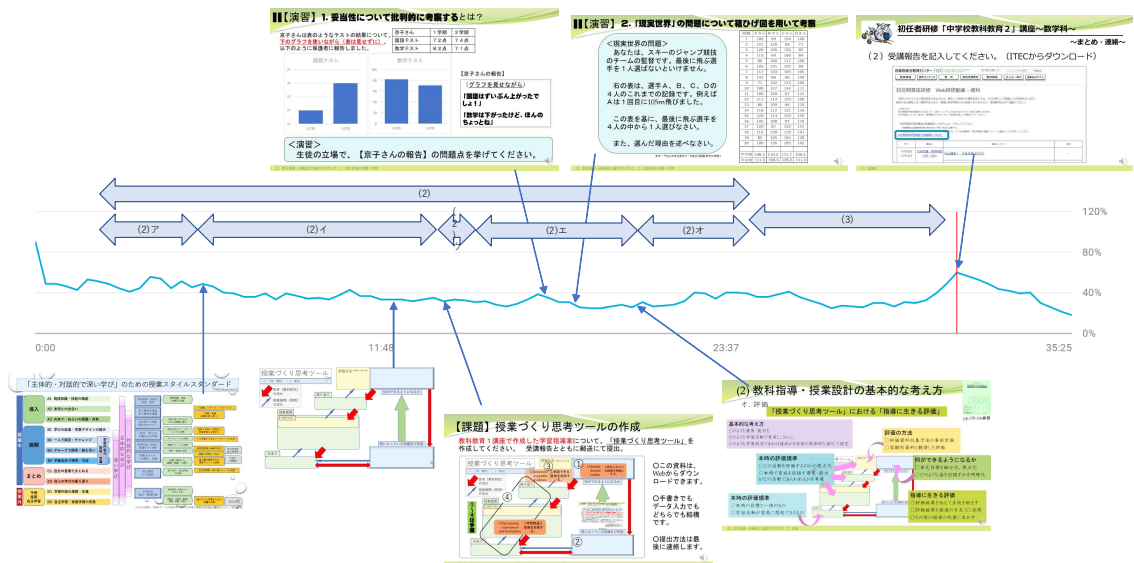
## ウ 中学校教科教育(数学科)の詳細分析

視聴パターン分類として今回は5タイプに分けたが、それぞれのタイプの中でも少しずつ状況は異なる。ここでは、さらに詳細に視聴率の高低とその時の内容について分析をする。

中学校教科教育 1 140-1-3 各教科における学習指導の目標と内容、「質の高い学力」を育成する学習指導の在り方【数学科】



中学校教科教育 2 142-1-3 教科指導・授業設計の基本的な考え方と、教科指導の効果を高めるICTや教材・教具の活用について【数学】



(図24) 中学校教科教育(数学科)の動画視聴状況(上:教科教育1、下:教科教育2)

次のような傾向がみられる。

- ①いずれもタイプⅢの特徴がみられる。連絡事項の視聴率が高い。
- ②演習(5秒間待つ)を多く入れているが、視聴率が低くなる傾向がある。
- ③タイプⅣの特徴である途中で視聴率が高くなる部分が数か所みられる。

これらの傾向を分析するとともに、動画の内容と視聴率の高低をさらに分析することが効果的な動画作成につながる。

## (6) 初任者研修アンケート結果より

初任者研修アンケートを次のような概要で実施した。

### 【目的】

初任者研修・新規採用者研修の改善に生かすこと

### 【対象】

府内公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の初任者研修受講対象者（359名）

### 【方法】

Web研修に関する質問について4点法で回答

無記名式

### 【時期】

令和2年10月～11月

### 【回答者数】

初任者：小138名、中94名、高47名、特40名 合計320名

【設問Ⅱ】本年度はWeb講座を一部実施しましたが、それに関する次の質問について、あなたの回答として最もあてはまる選択肢を一つずつ選び、マークシートの数字を塗りつぶしてください。  
**これまでに行ったWebを使った研修と集合研修（センター等が集まって行う研修）を比較しながら回答してください。**

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) Webを使った研修によって、自分の学びを進めることができる。	1	2	3	4
(2) Webのメリットを生かした研修は、今後も続けられるといいと思う。	1	2	3	4

【(3)～(6)は勤務校の休校期間中や夏季休業中の研修についてお答えください。】

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(3) Webを使った研修は、勤務時間中に行うことができた。（在宅勤務を含む）	1	2	3	4
(4) Webを使った研修が他の業務で中断されることなく行うことができた。	1	2	3	4
(5) 動画視聴や受講報告の記入などの作業はすべて木曜日に行った。	1	2	3	4
(6) 動画視聴はどこで行いましたか。	1：主に勤務校	2：主に自宅	3：勤務校と自宅の併用	4：その他

(図25-1) 初任者アンケート（Web関連項目）

【(7)～(10)は勤務校の授業実施期間中の研修についてお答えください。】

(7)	Webを使った研修は、勤務時間中に行うことができた。(在宅勤務を含む)	1	2	3	4
(8)	Webを使った研修が他の業務で中断されることなく行うことができた。	1	2	3	4
(9)	動画視聴や受講報告の記入などの作業はすべて木曜日に行った。	1	2	3	4
(10)	動画視聴はどこで行いましたか。	1： 主に 勤務校	2： 主に 自宅	3： 勤務校 と自宅 の併用	4： その他

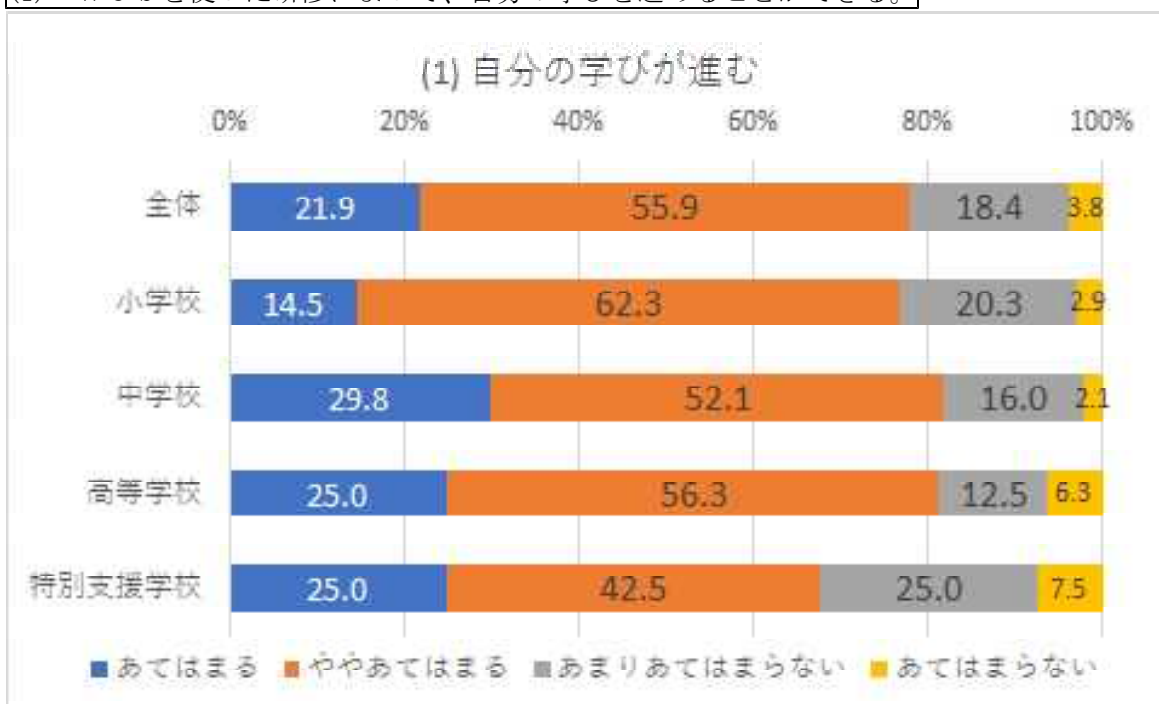
【設問Ⅲ】 Web講座の動画視聴は以下のうち、どの機器を使って視聴しましたか。使用した機器を全て選択して、マークシートの数字を塗りつぶしてください。(複数回答可)

1 学校のパソコン	2 私物のパソコン
3 学校のタブレット	4 私物のタブレット
5 スマートフォン	6 その他(使用した機器を自由記述欄に記載してください)

(図25-2) 初任者アンケート (Web 関連項目)

各設問ごとの結果を示す。

(1) Webを使った研修によって、自分の学びを進めることができる。

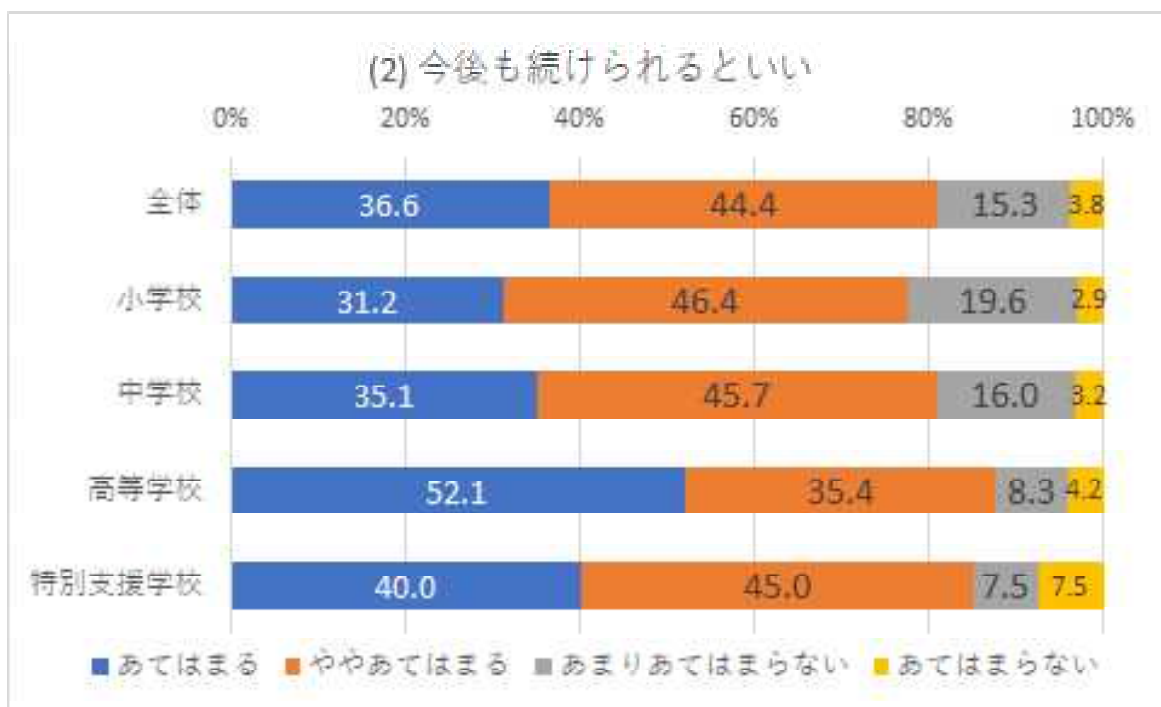


(図26) Webを使った研修による学び

令和2年度採用の初任者は一度も集合研修を経験することなく約3ヶ月間Webを使った研修を行った。動画視聴を中心とする研修であったが、多くの初任者がWeb研修の有用性を感じている結果となった。



(2) Webのメリットを生かした研修は、今後も続けられるといいと思う。



(図27) Web研修の今後

アンケート実施時点で初任者はWeb研修と集合研修（対面研修）の両方を経験している。その中で、Web研修のメリットを生かした研修の実施に約8割の初任者が継続を支持している。自由記述の内容から、移動時間が無いこと、動画視聴は自分のペースでできることなどがその理由の一つであることがわかる。支持していない初任者も約2割いるが、その理由としては、研修時間の確保が十分でないことなどがあげられる。

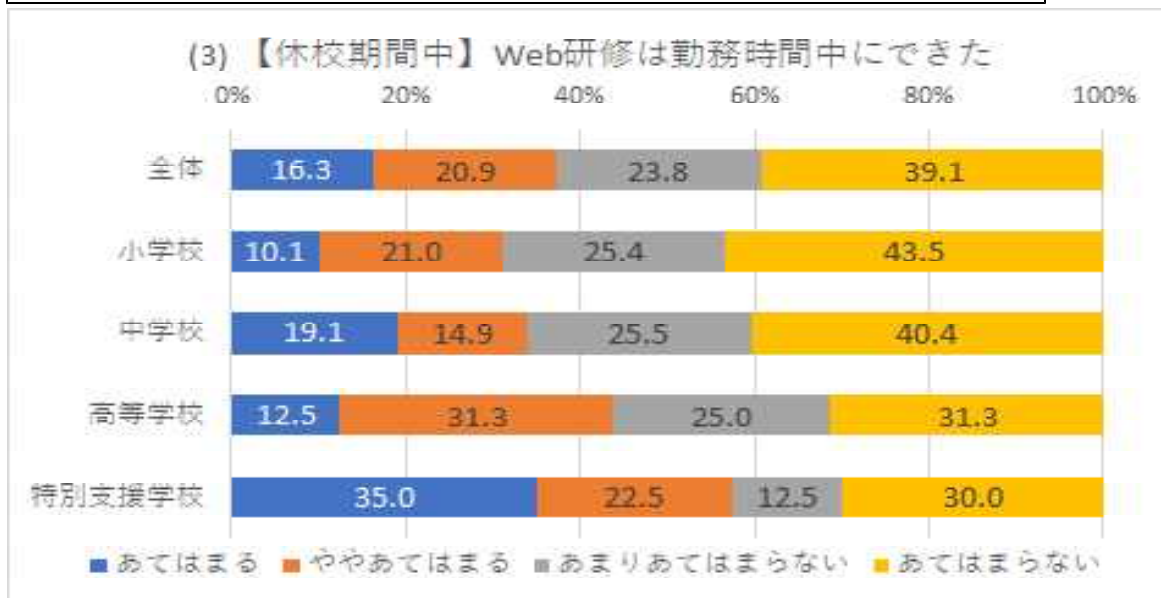
**Webを使った研修は、勤務時間中に行うことができた。(在宅勤務を含む)**

Webを使った研修について、動画視聴から研修報告記入までを勤務時間内に行うことができたかどうかを尋ねた設問である。

その結果、勤務校での授業が無いときに比べて有るときの方が勤務時間内に行うことができていないことが明確になったが、休校期間及び夏期休業期間中でさえ、多くの初任者が勤務時間内に行うことができていないことがわかった。

**【勤務校の休校期間中や夏季休業中】**

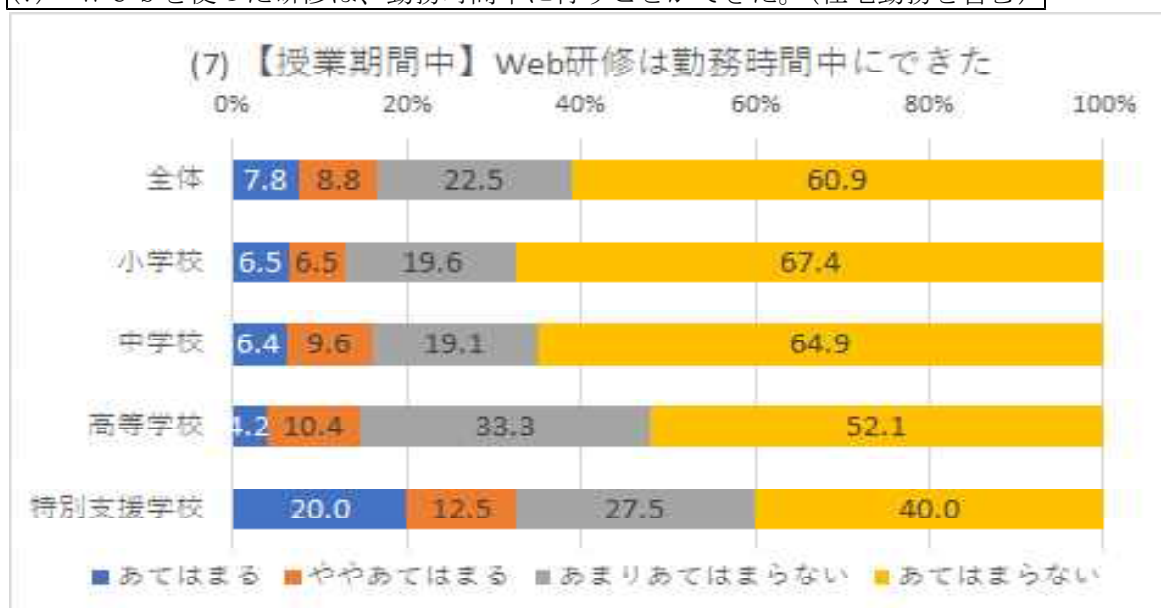
**(3) Webを使った研修は、勤務時間中に行うことができた。(在宅勤務を含む)**



(図28) 【休校期間中】勤務時間中にできたか

**【勤務校の授業実施期間中】**

**(7) Webを使った研修は、勤務時間中に行うことができた。(在宅勤務を含む)**



(図29) 【授業期間中】勤務時間中にできたか

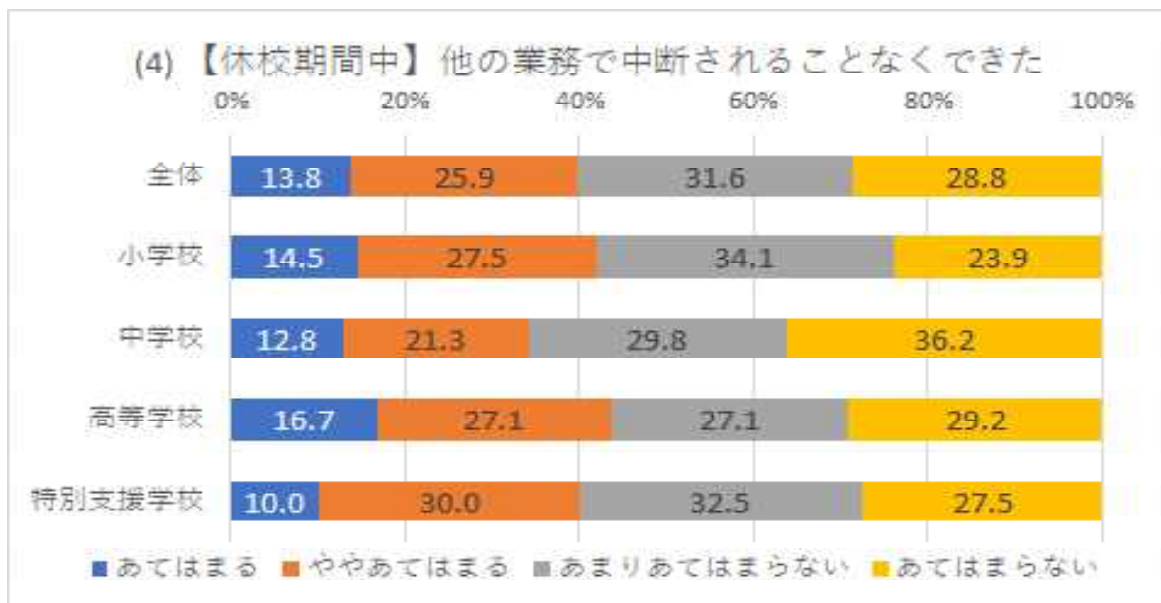
**Webを使った研修が他の業務で中断されることがなく行うことができた。**

Webを使った研修を行っている間に、他の業務で研修が中断されることがあったかどうかを尋ねた設問である。

集合研修の場合は、基本的に他の業務で研修が中断されることはないが、勤務校などでWeb研修を行っている場合、どの校種でも研修が中断されることがなくできている割合が低いことがわかった。特に、授業実施期間中は多くが研修の中断を余儀なくされている。

**【勤務校の休校期間中や夏季休業中】**

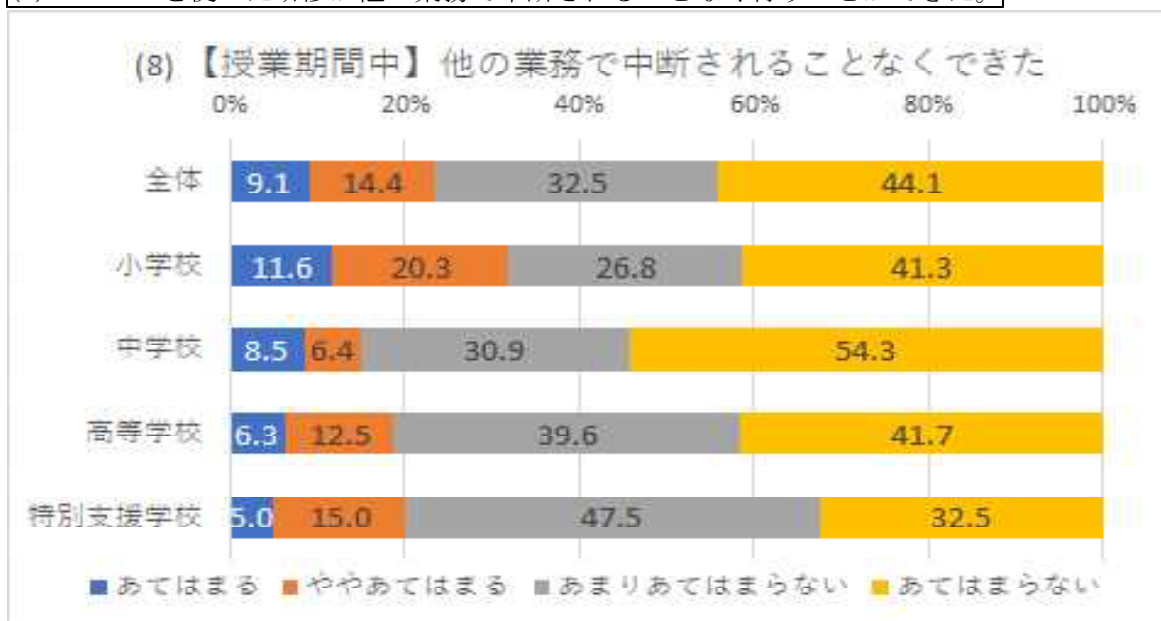
**(4) Webを使った研修が他の業務で中断されることがなく行うことができた。**



(図30) 【休校期間中】他の業務で中断されたか

**【勤務校の授業実施期間中】**

**(8) Webを使った研修が他の業務で中断されることがなく行うことができた。**



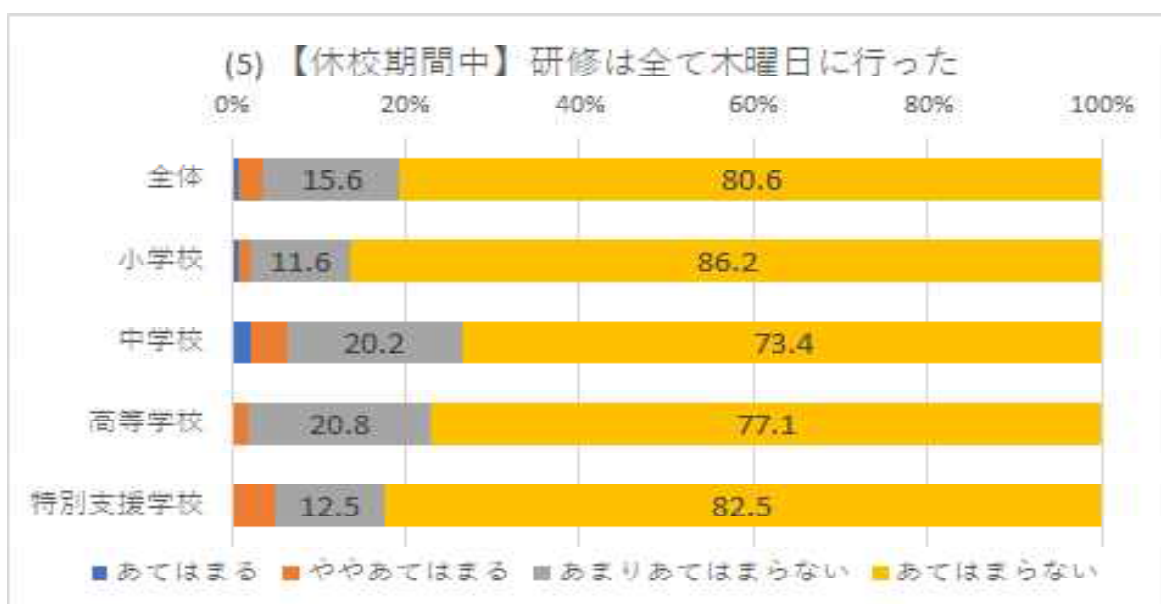
(図31) 【授業期間中】他の業務で中断されたか

**動画視聴や受講報告の記入などの作業はすべて木曜日に行った。**

集合研修の場合は、多くが木曜日に設定され、受講報告の記入まで含めて基本的に一日で研修が終了する。また、後補充や授業の時間割の配慮で多くの初任者が木曜日は研修を行いやすい状況であるが、動画視聴を中心とする研修の場合はいつでも研修を行えるため、実態把握のために設定した設問である。

**【勤務校の休校期間中や夏季休業中】**

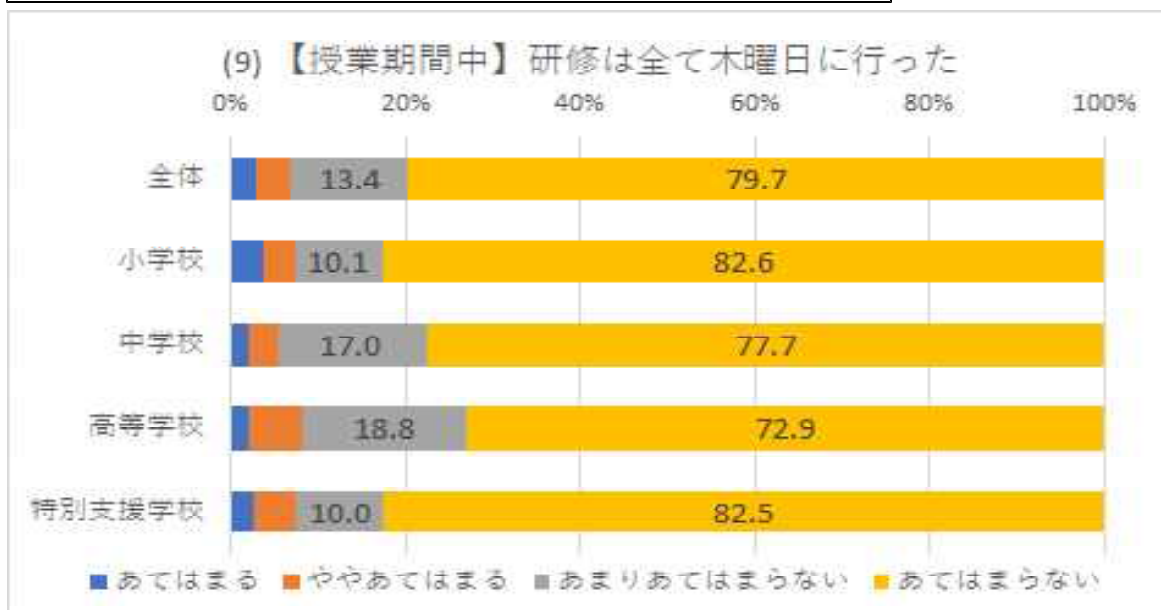
**(5) 動画視聴や受講報告の記入などの作業はすべて木曜日に行った。**



(図32) 【休校期間中】研修実施の曜日

**【勤務校の授業実施期間中】**

**(9) 動画視聴や受講報告の記入などの作業はすべて木曜日に行った。**



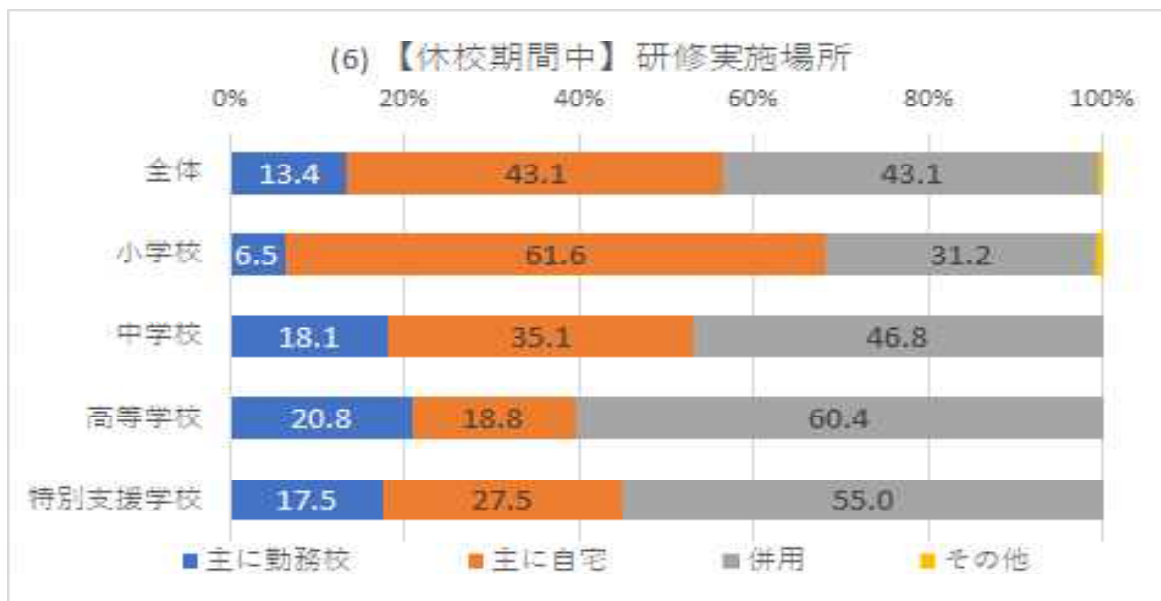
(図33) 【授業期間中】研修実施の曜日

### 動画視聴はどこで行いましたか。

研修のための動画視聴を行った場所について尋ねた。休校期間中に比べて授業期間中の勤務校での動画視聴が多くなっている。これは、学校が活動している傍らで研修を実施できている可能性を示唆しており、適切な研修形態である。気になるのは小学校の状況である。すなわち、約6割の初任者が主に自宅で研修を行っているという回答している。休校期間中であれば在宅勤務という可能性も考えられるが、授業実施期間中は勤務時間外に自宅で研修をしている可能性が高く課題が残る。

【勤務校の休校期間中や夏季休業中】

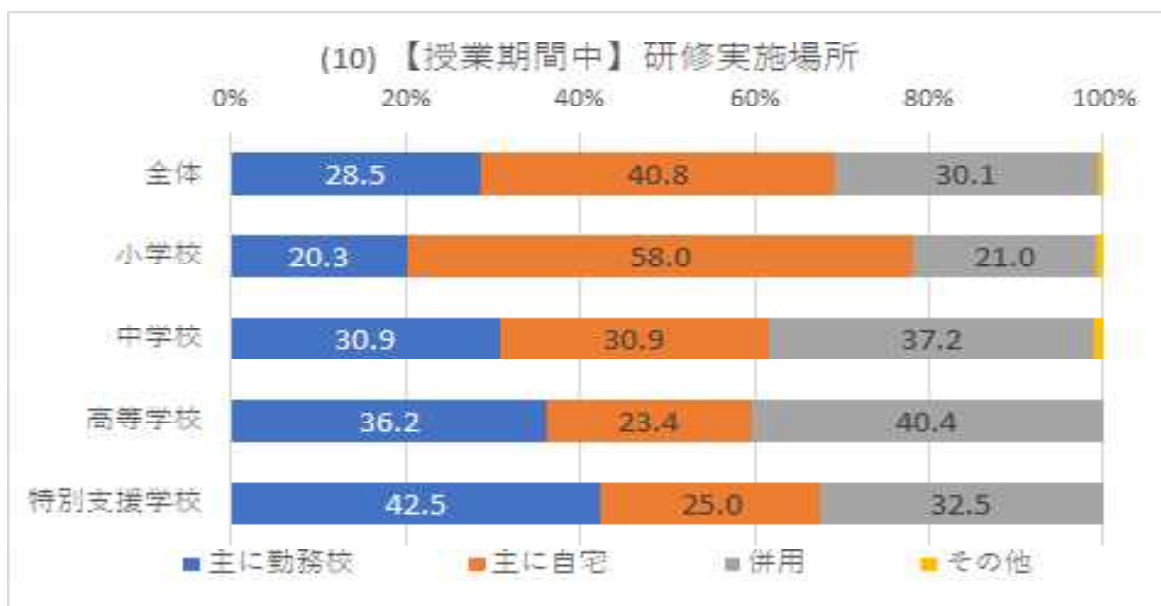
### (6) 動画視聴はどこで行いましたか。



(図34) 【休校期間中】動画視聴場所

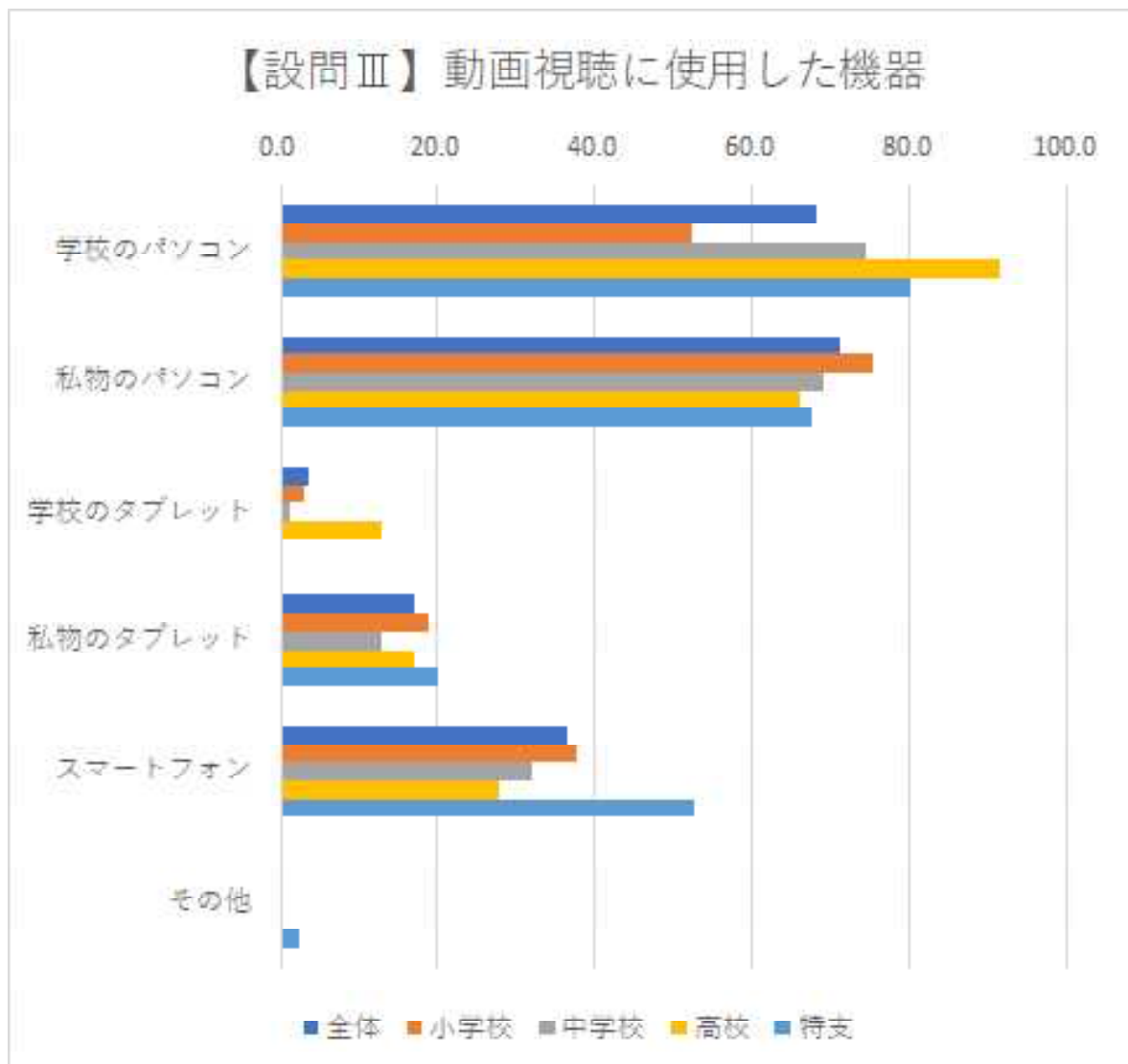
【勤務校の授業実施期間中】

### (10) 動画視聴はどこで行いましたか。



(図35) 【授業期間中】動画視聴場所

【設問Ⅲ】Web研修の動画視聴は以下のうち、どの機器を使って視聴しましたか。使用した機器を全て選択して、マークシートの数字を塗りつぶしてください。(複数回答可)



(図36) 動画視聴に使用した機器 (複数回答)

動画視聴を行うために使用した機器を複数回答で尋ねた。パソコンの使用が最も多いが、学校のパソコンの使用は校種によって差が生じている。学校のパソコンの使用率が高等学校の初任者は約9割であるのに対して、小学校の初任者は約半数にとどまっている。この原因として考えられるのは2点あり、1点目は動画視聴の環境の整備状況に差があること、2点目は小学校の初任者の多くが自宅で動画視聴をする状況になっていることが考えられる。

学校のパソコン・タブレットと私物のパソコン・タブレットの使用が拮抗している。個人の負担に依拠していることは課題である。

約4割の初任者がスマートフォンでも視聴しており、小さな画面で研修ができるように動画を作成する必要性や、個人の機器の使用や通信料の負担など配慮が必要な可能性を示唆している。

アンケートでは、Web研修に関して感じたことを自由記述で記載することができる。その内容については現在分析中であるが、一部の記述内容を以下に列記する。

○Web研修は学校や家で行うことができるので、移動する時間がいないことやもう一度見たいと思ったときに見ることができる良さを感じました。

○集合研修を行うことでお互いの学校の実態を共有したり、活動中では協議し合うことにより考えを深めることができました。

○Web研修が時間に追われることなく、好きなタイミングで見ることができたので良かったと思います。

○Web研修は自分で時間を見つけて行え、大切な言葉などをメモしたいときに一旦停止し書くことができるので聞き逃しがなくいいなと思います。

○Web研修の良さ：いつ見てもいいということ  
センターでの良さ：他の学校の先生とお話できること。気分転換になること。

●勤務時間外に受講することが多かったため負担になった。

●集合研修では、他の学校の先生と話し、自分とは別の考え方に気付くことができることや、報告書まで一日で書き終えることができるよさを感じた。

●授業実施期間中の勤務時間内の視聴は難しく、残業中もしくは休日に視聴することになった。

●わからないところを質問できない。

●学校のタブレットではITECにログインすることができない。インターネットの動作が遅かった。業務の合間に動画を視聴して報告書をまとめるところまでできない。

(7) 受講報告から読み取れる「健康安全教育、地域連携」講座の受講状況報告

ここでは、実際の受講報告から読み取れる研修の様子を報告する。

例として、動画視聴期間として5月28日（木）から6月11日（木）までを設定した「初任者・新規採用者研修共通『健康安全教育・地域連携』講座」について、受講報告に書かれた研修の日時を集計した。受講対象者は初任者、新規採用者、幼稚園等教諭の444名である。表19は、初任者等がどの時間帯に受講しているのかを4つに分類した。

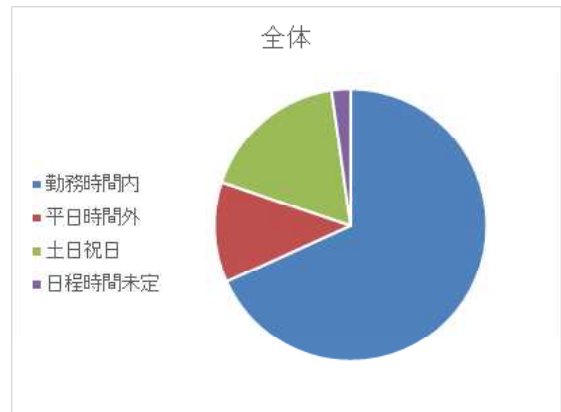
- 「勤務時間内」 …開始時刻から終了時刻までが勤務時間内に収まっている
- 「平日時間外」 …業務日(平日)に研修を行っているが、開始時刻または終了時刻のいずれか（あるいは両方が）勤務時間外になっている
- 「土日祝日」 …土曜日、日曜日、祝日に研修を行っている
- 「日程時間未定」…研修の日時が書かれていない、または、不適切な記載

(表19)「健康安全教育・地域連携」講座 Web講義受講時間帯

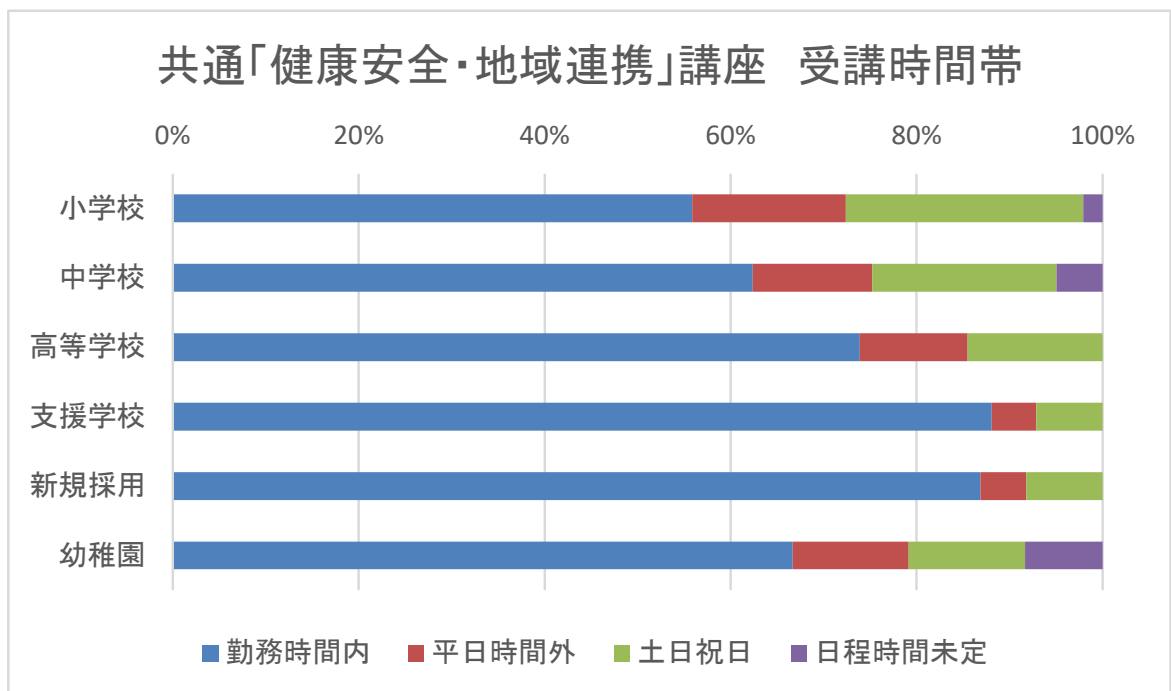
初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座 WEB講義受講時間帯					
動画視聴開始日（令和2年5月28日(木)）					
（人数）	全員	勤務時間内	平日時間外	土日祝日	日程時間未定
小学校	145	81	24	37	3
中学校	103	65	13	20	5
高等学校	69	51	8	10	0
支援学校	42	37	2	3	0
新規採用	61	53	3	5	0
幼稚園	24	16	3	3	2
合計	444	303	53	78	10
（%）	全員	勤務時間内	平日時間外	土日祝日	日程時間未定
小学校	100.0	55.9	16.6	25.5	2.1
中学校	100.0	63.1	12.6	19.4	4.9
高等学校	100.0	73.9	11.6	14.5	0.0
支援学校	100.0	88.1	4.8	7.1	0.0
新規採用	100.0	86.9	4.9	8.2	0.0
幼稚園	100.0	66.7	12.5	12.5	8.3
全体	100.0	68.2	11.9	17.6	2.3



結果としては、勤務時間内に研修を行っていたのが68.2%に留まった。平日の時間外が11.9%、土曜日曜が17.6%と、少なくとも約3割の受講者が勤務時間内に研修を終了させることができていない（表19、図37）。



(図37) 研修時間帯



(図38) 「健康安全教育・地域連携」講座Web講義受講時間帯

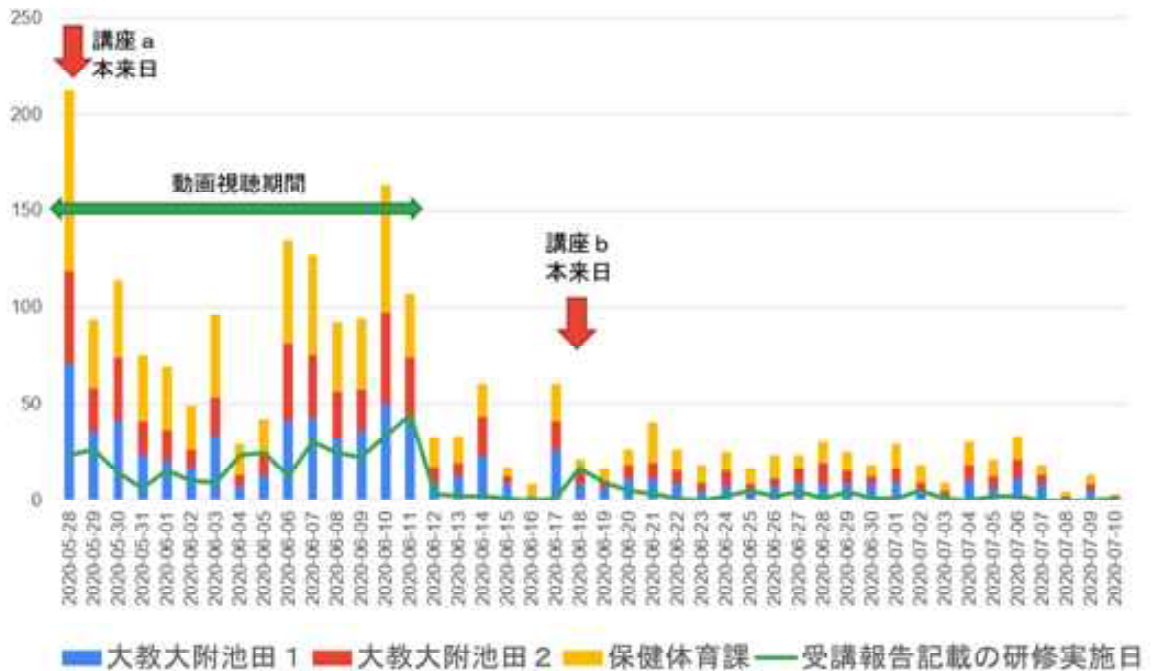
さらに、校種・職種別に集計すると図38のようになる。勤務時間内に研修を行った割合が最も低かったのは、小学校で、55.9%に留まっている。勤務時間内に研修を行った割合が最も高かったのは、特別支援学校の88.1%である。

言うまでもなく、職務として初任者研修、新規採用者研修を行うもので、勤務時間内に研修が行えるように環境整備することは大切なことである。初任者、新規採用者だけの努力でそれを行うことは困難なので、指導者や管理職が研修に集中できるように仕事の整理や人員の配置などを行う必要がある。また、職場の同僚の理解も必要である。

集合研修の場合は、指定された日時に必ず勤務先を離れる必要があるが、Web研修の場合は、指定された日に幅があるので、所属先の実情に合わせて柔軟に研修の計画を立てることも可能な中で、必ず勤務時間内に研修が行えるように工夫することが必要である。

図39は、「健康安全教育・地域連携」講座の動画視聴状況と受講報告による研修実施日の関係を図示したものである。

初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座



(図39)「健康安全教育・地域連携」講座の動画視聴と研修実施日の関係

ここから、次のような研修の状況が読み取れる。

- ①動画視聴期間に約71%が受講している
- ②本来の実施日である6月18日を含め、5月28日、6月4日、11日、18日と木曜日の研修実施が比較的多い
- ③動画視聴回数と受講報告記載の研修実施日の相関係数は0.712と強い相関がある

※この講座の本来の実施日は講座 a が5月28日（木）、講座 b が6月18日（木）であり、動画視聴期間は5月28日（木）～6月11日（木）である。

また、表20より次のことも読み取れる。

(表20) 曜日別動画視聴回数と研修実施日

- ④動画視聴回数、研修実施日ともに木曜日が最も多いが、その割合は約2割から3割にとどまる。
- ⑤研修実施日に比べ、動画視聴回数の方が曜日によるばらつきが少ない。
- ⑥動画視聴回数は土日の割合も高い。

曜日	You Tube 動画視聴回数(%)	受講報告記載の研修実施日(%)
日	15.4	11.3
月	12.0	12.1
火	9.2	8.5
水	16.4	11.8
木	20.6	29.8
金	11.0	17.0
土	15.4	9.5
合計	100.0	100.0

## 6 成果と課題

4月から6月中旬まで全ての集合研修を中止し、Web研修を行っている間、初任者・新規採用者の様子の把握は例年のように行えなかった。また、Web研修の学校現場における実施状況（動画視聴状況）も把握しづらく、提供している動画の研修効果等も手探りの状態であった。

今回の定量的な分析により、それらを把握して今後の講座構想に活用できる知見を得ることができた。

今後は、集合研修とWeb研修の効果を研究しつつ、適切な講座を設定しながら分析を継続することが必要である。また、校種による差異の分析やオンライン（リアルタイム）で実施した校種について、状況分析などより詳細な分析を行っていくことが課題である。

## 7 おわりに

集合研修とWeb研修を比較することを通して、コンテンツそのものを見直すきっかけにもなり、今後の研修全体が効果的、適切に行えることにつながる研究であることを望む。

## 参考・引用文献

- (1) 株式会社Schoo（スクー）Webページ、<https://schoo.jp/biz/column/398>
- (2) YouTube 京都府総合教育センターチャンネルアナリティクス
- (3) 笠沙敏彦(2020)、「Web研修の状況報告-Withコロナ時代のWeb研修の在り方の検討に向けて」、令和2年度近畿地区教育研究（修）所連盟研究発表大会発表資料